

### 令和元年度 第1回香南市産業振興計画 策定委員会

## 平成30年度の目標達成状況（KPIシート）

・ 数値目標（P）に対する客観的評価の方法	：	1	ページ
・ 平成30年度 各推進分野別部会 『数値目標及び実績』 一覧	：	2	ページ
・ 平成30年度 各推進分野別部会 『各事業』 の評価一覧	：	3	ページ
・ 農業分野	：	4 ～ 8	ページ
・ 林業分野	：	9 ～ 11	ページ
・ 水産業分野	：	12 ～ 14	ページ
・ 商工業分野	：	15 ～ 20	ページ
・ 観光分野	：	21 ～ 26	ページ
・ サイクリング専門委員会	：	27 ～ 28	ページ
・ 住宅分野	：	29 ～ 31	ページ

## 数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A	平成30年度の数値目標と実績値を比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上</li> <li>・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの</li> </ul>
B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満</li> <li>・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの</li> </ul>
C		<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満</li> <li>・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの または進展・改善が見られなかったもの</li> </ul>
—		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の到達目標値が「0」、又は、平成30年度未着手のため達成状況が図れないもの</li> </ul>

◆ 平成30年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧

【農業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	15人/年		【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター調べ (6月2日 ～ 翌年 6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9				
	達成 (評価)	A	A	C	B				

【林業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	600ha以上 (累積)		・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の( )の数字は、その年度 に実施した面積。
	実績値 (年度実施 面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)				
	達成 (評価)	B	C	C	C				

【水産業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200t以上 維持(年)		【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～31 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t
	実績値	1,086	693	839	1,119				
	達成 (評価)	B	C	B	B				

【商工業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	500億円以上 維持(年)		【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2 月末に公表されるため、実績値は、調 査の対象機関の関係で、前年の製造品 出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	397				
	達成 (評価)	B	B	B	B				

【観光分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
観光施設入込客数 (万人/暦年)	目標値	100以上	100以上	120以上	120以上	120以上	120万人以上 維持(年)		【根拠数値】 ・実績値は暦年(1月-12月) ・対象施設11か所 ①のいち動物公園・・・166,504 ②月見山こどもの森・・・25,647 ③ヤ・シィパーク・・・339,679 ④絵金蔵・・・・・・・・10,265 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・2,321 ⑥天然色市場・・・・・・8,139 ⑦やすらぎ市・・・・・・209,067 ⑧あぐりのさと・・・・・・20,998 ⑨黒潮温泉・・・・・・100,418 ⑩アクトランド・・・・・・109,436 ⑪土佐カントリークラブ・・・69,704
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2				
	達成 (評価)	A	A	B	B				

【サイクリング分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	2,300人 (年)		【根拠数値】 ・対象施設3か所の貸出数  ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714	2,060	2,156				
	達成 (評価)	-	A	A	A				

◆ 平成30年度 各推進分野別部会『各事業』の評価一覧

分野名	各取組 合計	A評価	B評価	C評価	未評価
農業分野	28	15	7	6	0
林業分野	14	4	1	7	2
水産業分野	8	3	3	1	1
商工業分野	19	9	1	9	0
観光分野	13	4	7	1	1
サイクリング	8	4	3	1	0
住宅分野	13	4	4	3	2
合計	103	43	26	28	6

平成30年度の実績

【農業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	15人/年		【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター 調べ (6月2日 ～ 翌年 6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9				
	達成 (評価)	A	A	C	B				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の実績について】

目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表されるが「前年度の新規就農者数」であり、平成30年度の目標値である「新規就農者数12名」の目標に対し、新規就農者は9人であることから「B判定」とした。平成30年度の就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、就農するまでには至らなかった。今後も就農に向けたイベントに関係機関と参加し、周知をしていくよう努め、R元年度の目標値である15人に繋げられるように各取組を進めていく。

【R元年度の実績について】

各取組を前進させ、整備等を行うとともに、東京や大阪で行われる農業人フェアや高知暮らしフェア等の『新規就農に向けたイベント』に参加し、周知に努める。  
また、高知県農業協同組合の広報等にも掲載をお願いし、周知の強化を行い、目標値である15人に繋げられるように努める。

戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称		目標値						A/B/C		
	○具体的な取組 (P)		実績値								
基盤 整備 ・ 防災	◆農業生産基盤の充実（県防災減災事業）										
	1. 防災施設対策整備の実施【箇所数】  (H27) ー (H28) 黒谷ため池(測量設計) (H29) 黒谷ため池(測量設計) (H30) 黒谷ため池(改修工事) 1箇所 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	－	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		本改修工事の完成に向け県との実施調整を行いながら、令和元年度内の工事完了を目指す。	
		実績値	－	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
		達成(評価) (C)	－	C	A	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 黒谷ため池の改修工事：11月 仮設工事実施。 H31.3月までに改修工事発注済。 本体工事は計画通りR元年度に実施予定。								
	2. 排水機場施設整備の実施【箇所数】  (H27) 江見・吉原排水機場 (H28) 吉原排水機場 (H29) 吉原排水機場 (H30) 吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事) 1箇所 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所		H30年度は一部施工。 残りは次年度へ繰越。 今後も県と実施調整を密に行いながら 早期完了を目指す。		
		実績値	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所					
		達成(評価) (C)	C	C	A	C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 県営事業での本年度は電気設備等一部完了。残りは来年度繰越。								
	3. 地域農業水利施設事業の実施 【箇所数】  (H27・28) 烏川・香宗川・山北川流域堰整備 事業 (H29) 烏川統合堰・総合堰の改修工事 (H30) 烏川統合堰・総合堰の(改修工事) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	3箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所		高知県と実施調整を密に行いながら次 年度内の竣工を目指す。		
		実績値	0箇所	1箇所	1箇所 (1件繰越)	1箇所					
		達成(評価) (C)	C	C	C	C					
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 烏川2箇所で1箇所総合堰は測量設計を3月完了。 統合堰についても29年度工事発注済であるが付帯工事と併せて30年度に繰越し実施。  【H30年度の取組】 繰越施行の1箇所については3月に完成。1件については仮設工事の調整が出来なかった為繰越。								
	4. 農業水利施設保全合理化作業の実施 【箇所数】  (H27・28) 物部川統合堰（幹線水路調査） (H29) 同上（機能診断調査） (H30) 機能診断保全計画書作成 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	計画書 の策定		R元年度事業採択に向けた南国、香美、 香南を含む物部川統合堰の機能診断保 全計画書を作成。 H30年度に計画書を作成し、採択に向け 調整しているが令和元年度の着手は困 難な状況であり、R2年度事業採択に向 け進める。		
		実績値	1箇所	1箇所	1箇所	0箇所					
		達成(評価) (C)	A	A	A	C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 7月豪雨により本計画施設の1部が被災、復旧の必要性が生じたため本事業での実施計画作成を見 直すため計画年度をR元年度へ変更。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称		目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)		実績値							
基盤整備・防災	5. 農地耕作条件改善事業(頭首工)の実施【箇所数】  (H27)岩田堰袋体据付 (H28)－ (H29)曾我井川堰、烏川1号堰・3号堰 (H30)門田堰・東佐古用排水路(測量設計) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	1箇所	－	3箇所	2箇所	2箇所		県及び地元実施調整を図りながら頭首工及び用排水路工事完了を目指す。	
		実績値	1箇所	－	0箇所	2箇所				
		達成(評価) (C)	A	－	C	A				
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 頭首工3件共に29年度未採択のため未実施。  【H30年度の取組】 門田堰及び東佐古用排水路測量設計については完了した。							
	6. 土地改良施設維持管理適正化事業の実施【箇所数】  (H27)－ (H28)－ (H29)西部排水機場除塵機修繕 (H30)小林堰(ゴム体修繕工事) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	－	－	1箇所	1箇所	1箇所		R元年度実施の予定箇所についても管理者との実施調整を行いながら工事完了を目指す。	
		実績値	－	－	1箇所	1箇所				
		達成(評価) (C)	－	－	A	A				
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 事業完了に向けて取組を実施。12月契約予定。							
	7. 工業用水道整備事業(水路・道路等整備)の実施【件数】  (H27)4路線、西中筋6水路工事1路線 (H28)水路2路線 (H29)水路2路線、道路1路線 (H30) ・水路3件(西中筋7水路・中組南11水路 中組南18水路) ・道路1件(ナノ丸1号線道路) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	水路4件 道路1件	水路2件	水路2件 道路1件	水路3件 道路1件	水路1件 道路1件		地元関係者との協議を密にしながら要望箇所の早期竣工に向け取り組んでいく。	
		実績値	水路4件 道路1件	水路2件	水路2件 道路1件	水路2件 道路1件				
		達成(評価) (C)	A	A	A	B				
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 事業完了に向けて取組を実施。 西中筋7水路、中組南水路は完了。用地調整のためナノ丸1号は1部残して完了。 中組南11水路については予算に伴い令和元年度の施工となる。							
	8. 農業集落排水整備(上岡地区集落道改良工事)の実施【件数】  (H27)水路工事 (H28)同上 (H29)同上(16・17水路) (H30)8水路・16水路 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	2件	2件	2件	2件	2件		地元協議を図りながら実施箇所の早期竣工を目指す。次年度に向けての測量設計と水路改修工事を進める。	
		実績値	2件	2件	2件	2件				
		達成(評価) (C)	A	A	A	A				
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 計画どおり完了済。							
◆防災への対策										
1. 農村地域防災減災事業の実施【件数】  (H27)香南市南部避難ター (H28)新規2箇所 計3箇所 (H29)吉川地区避難ター (H30)吉川地区避難ター (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	目標値	1件	3件	1件	1件	－		H30年度で事業終了のため、次年度より事業は行わない。		
	実績値	0件	2件	繰越	1件	－				
	達成(評価) (C)	C	B	C	A	－				
	事業内容 (D)	【H29年度の取組】 工事1箇所を発注済であるが遺跡調査等不測の日数により30年度繰越施工。  【H30年度の取組】 計画どおり完了済。								
2. 重油流出防止付装置燃料タンク整備事業(重油タンクの流出防止対策)【各タンク等設置数】  (H27)タンク (H28)タンク (H29)タンク・防油堤・ヒートポンプ(計21) (H30)タンク・防油堤・ヒートポンプ(計26) →タンク8・防油堤11(計19) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	目標値	19	27	21	26	26		県補助金はH30年度で終了予定であったが、次年度も継続することとなったため、再び未設置の農家に周知を図り、設置率を上げていく。		
	実績値	19	21	17	19					
	達成(評価) (C)	A	B	B	B					
	事業内容 (D)	【H29年度の取組】→タンク6・防油堤9・ヒートポンプ2(計17) 【H30年度の取組】→タンク8・防油堤11(計19) 事業完了に向けて取組を実施。 園芸用ハウスで使用するタンクを燃料タンク整備事業で活用するため、防油堤は目標よりも多くなっているが、流出防止タンクはほとんどの農家が設置を完了させており、目標値の半分程の申請のため、目標まで届かなかった。								



戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
経営改善・担い手	◆担い手対策の促進								
	1. 担い手育成センター研修支援事業の実施 【支給人数】  (H27)－ (H28)－ (H29)担い手育成センター研修費補助 (H30)担い手育成センター研修費補助 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	－	－	10人	10人	10人		これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。また、就農相談時に担い手センターへの入校を推進し、基礎知識の習得を促していく。
		実績値	－	－	4人	2人			
		達成(評価) (C)	－	－	C	C			
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 就農を安易に考えている方等が多く、担い手育成センターへ行くまでに至っていない。 【H30年度の取組】 広報等での周知を継続し、就農相談は10件あったが、就農を安易に考えている方や、今後の予定を立てられていない方が多く、担い手育成センターへ行くまでに至っていないため、目標数値には至っていない。						
	2. 新規就農推進事業の実施 【利用人数】  (H27)新規就農研修事業 (H28)研修・親元就農支援事業 (H29)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分 (H30)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	4人	4人	① 3人 ② 4人	① 3人 ② 4人	① 3人 ② 4人		産地提案書を基に広報やJA高知県香美地区、高知県農業推進振興センター等と連携し、引き続き周知を図っていく。
		実績値	2人	3人	① 3人 ② 1人	① 0人 ② 4人			
		達成(評価) (C)	C	B	A C	C A			
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 親元就農応援区分については順調に推移。また、専業農家育成区分では3月から1人が研修開始。 【H30年度の取組】 東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」、「高知農に就くフェア」等への参加に加え、高知市のイオンモールでPR活動を実施。12月には東京・大阪で開催された「高知暮らしフェア」に参加し周知を行った。						
	3. 農業次世代人材投資事業の実施 【人数】  (H27)青年就農給付金事業 (H28)青年就農給付金事業 (H29)経営開始型支給数 (H30)同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	10人	10人	8人	10人	10人		次年度の目標値を達成するために引き続き周知を図り、新規就農者の獲得に向けた取組を図る。
		実績値	2人	0人	16人	13人			
		達成(評価) (C)	C	C	A	A			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 給付は1人に付き5年行われるため、R元年度までの累積給付者目標は10名としている。 目標は達成したが、H30年度末でのべ5人の給付が終了となることから、次年度の目標値に向け、新規給付者獲得の周知を図る必要がある。						
	4. 農業後継者推進事業 【支給人数】  (H27)－ (H28)農業後継者 (H29)同上 (H30)同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	－	15人	15人	15人	15人		H30年度末で9人の給付が終了した。 引き続きPRをし周知を図り、新規者の獲得につながる周知の実施する。
		実績値	－	10人	13人	15人			
		達成(評価) (C)	－	B	B	A			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 給付は1人に付き2年行われるため、R元年度までの累積給付者の目標は15人としている。 目標は達成したが、H30年度末で9人の給付が終了となることから、次年度の目標値に向け、新規給付者獲得の周知を図る必要がある。						
	5. 実践型研修ハウス整備事業 【ハウス面積】 (H27)－ (H28)－ (H29)ハウス設置に向けた取組 (H30)ハウス面積30a(10a×3棟)の建設 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	－	－	30a	30a	30a		既存のハウスに加え、ハウス面積30a(10a×3棟)の建設する。 運営については、貸付けに関する要綱を作成し、円滑に運営を行う。
		実績値	－	－	0a	30a			
		達成(評価) (C)	－	－	C	A			
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 ハウス設置に向けた取組を実施。用地が賃貸借から売買へ再度交渉することとなったため建設に至らなかった。 【H30年度の取組】 計画どおり 10a×3棟のハウスを建設済。						
経営改善・担い手	◆経営の改善への対応								
	1. 園芸用ハウス整備事業 【件数】  (H27)園芸ハウス整備/復旧支援事業 (H28)園芸用ハウス (H29)①中古 ②新規ハウス整備 (H30)中古・新規ハウス整備 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	8件 (4件/4件)	12件	計15件	計19件	計19件		JA高知県香美地区、高知県農業推進振興センター等と連携し、事業を円滑に進める。 また、各広報誌や郵送物に案内を入れるなどして周知を図る。
		実績値	4件 (4件/0件)	9件	計13件	計13件			
		達成(評価) (C)	C	B	B	B			
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 中古ハウス3件、新規ハウス10件 【H30年度の取組】 新規ハウス整備の中止案件が多く、目標には至らなかった。(中古2件、新規11件)						

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称		目標値						A/B/C		
	○具体的な取組 (P)		実績値								
経営改善・担い手	2. 経営所得安定対策推進事業 【利用件数】  (H27) 戸数/面積 2,901戸/1,089ha (H28) 主食用米 715ha/育料用米 68ha ⇒主食用米 526ha/育料用米 42ha (H29) 利用件数 (H30) 利用件数 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	-	1,000件	1,000件	750件		次年度は米作のみの農家を除いた件数とし、目標数値を変更する。		
		実績値	-	-	1,117件	741件					
		達成(評価) (C)	-		A	B					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 これまで支給されていた米作のみの方に対する直接支払い交付金はH29年度で終了したため、H30年度は利用件数が減っている。								
	3. 農地中間管理事業 【件数】  (H27～29) 利用件数 (H30) 利用件数 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	5件	5件	5件	5件	5件		関係機関と連携をし、耕作放棄地の解消を図る。また、認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。 認定農業者外の農家については、広報などで周知を行う。		
		実績値	2件	5件	4件	7件					
		達成(評価) (C)	C	A	B	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 認定農業者に年に1度、中間管理機構の案内文を送付し周知を図った。								
	4. 環境制御技術導入普及促進事業 【件数】  (H27) 環境制御技術導入加速化事業 (H28) 環境制御技術導入促進事業 (H29) 利用件数 (H30) 利用件数 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	34件	37件	26件	19件	19件		H30年度で終了予定であったが、次年度も継続することとなったため、再び周知を図り対応を行う。		
		実績値	34件	17件	27件	43件					
		達成(評価) (C)	A	C	A	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 順調に導入することができた。								
	5. 産地パワーアップ事業 【件数】  (H27) - (H28) ニラそぐり機、低コスト耐候性ハウス →ニラ25件、ハウス3件 (H29) ニラそぐり機15件・低コスト耐候性ハウス5件 →ニラ20件、ハウス5件 (H30) 環境制御15件、結束機10機、そぐり機20機、ハウス資材 3件 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	-	20件	48件	30件		H30年度で終了予定であったが、次年度も継続することとなったため、再び周知を図り対応を行う。		
		実績値	-	28件	25件	23件					
		達成(評価) (C)	-	-	A	C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 H29年度の実績が多かったため目標値を上げたが、目標値までは届かなかった。								
◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発											
	1. 農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり) 【年度により数値目標変更】  (H27) 産業振興推進総合支援事業費 【販売額】 ①メロン ②ニラ (H28) 次世代型ハウス・農業クラスター促進事業 【クラスター整備数】 (H29) 新規商品開発【件数】 ・山北みかんバター ・山北みかんかき氷 (H30) ○新商品販売開始数 1件 ○既存商品販売個数 ・山北みかんバター 3,000個 ・山北みかんかき氷 300個 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	1件	1件	① 1件 ②A3,000個 B 300個	① 1件 ②A3,000個 B 300個		山北みかんブランディング及び地産外商推進による産地の再構築を継続するとともに、新商品(山北ミカンジュース180ml、山北みかんゼリー)の販売を目指す。 また、(株)山北みらいと連携した外商事業強化を進める。		
		実績値	メロン 406,113千円 ニラ 1,100,247千円	1件	5件 (うち2件を販売開始)	① 1件 ②A 5,342個 B 380個					
		達成(評価) (C)	-	A	A	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 山北みかんブランディング及び地産外商推進による産地の再構築を実施。 また、ふるさと納税と連携し、新商品である山北みかんジュース(720ml)の販促活動や東京にてPRイベントを開催。さらに外商実施のための組織の設立検討を実施。								
経営改善・担い手	◆消費者の安全安心志向への対応										
	1. 地産地消推進協議会補助事業 【使用率】  (H27) - (H28) 学校給食への市内産野菜(主要品目) の使用率 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	37%	37%	38%	39%		4月からは新たににんじんの供給ができるようになる。今後さらに新たに使用できる品目の計画を立てていき、学校給食への供給を推進していく。		
		実績値	36%	31%	30%	36%					
		達成(評価) (C)	-	B	B	B					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 高知県改良普及課等の関係機関と連携し、品質及び納品量の安定的な確保に取組み、昨今の気候に対応した栽培計画及び品種の選定、研究を行い、安心安全な農産物作りに取り組んできた。また、年間を通して使用される人参の供給に向けて協議をすすめ、R元年度から供給できるようになった。								



戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称		目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)		実績値							
経営改善・担い手	2. 信頼される産地づくり支援事業【検体数】  (H27)－ (H28)利用件数 (H29)同上 (H30)同上 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	－	150検体	147検体	123検体	123検体		引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。
			実績値	150検体	147検体	127検体	126検体			
			達成(評価) (C)	－	B	B	A			
			事業内容 (D)	【H30年度の取組】 検査料、出荷量の変化がなく予定どおりに推移しており、順調に取り組めている。						
中山間	◆農地の保全と活用の促進									
	1. 中山間地域等直接支払事業【組織数】  (H27～H29)組織数 (H30)組織数 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】
			目標値	－	11組織	11組織	11組織	11組織		適正な維持管理を行ってもらうよう、指導・助言を行う。 4期対策 5年目の最終年度となるため、取組の維持に向けた説明会を開催していく。
			実績値	8組織	11組織	11組織	11組織			
			達成(評価) (C)	－	A	A	A			
			事業内容 (D)	【H30年度の取組】 協定数は増えていないが、対象農地面積を増加させることが出来、順調に取り組めている。						
	2. 多面的機能支払事業【組織数】  (H27～H29)組織数 (H30)組織数 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今度の取組】
			目標値	－	10組織	10組織	10組織	10組織		H30年度で活動期間(5年間)を終える組織が7組織あり、次年度以降も活動を継続できるように助言を行う。 また、各広報誌、ケーブルテレビ等で制度の周知を図る。 さらに、各地域の農業委員と調整し、事業が実施できそうな地区に対して、説明に出向く取組等を行い、新組織の立ち上げに繋げる。
			実績値	10組織	10組織	10組織	8組織			
			達成(評価) (C)	－	A	A	B			
			事業内容 (D)	【H30年度の取組】 11/2に次年度に向けて県と協議を実施。市内の活動組織を集め交流会を1月から2月にかけて開催。しかしながら結果2組織が解散となる。						
	◆有害鳥獣被害対策									
	1. 鳥獣被害対策実施隊【捕獲数】  (H27)捕獲数 猪、鹿、カラス等 計680 →猪232、鹿105、カラス等229 計566 (H28)猪220、鹿150、カラス等130 計500 →猪161、鹿119、カラス等320 計600 (H29)猪220、鹿150、カラス等500 計870 →猪217、鹿210、カラス等315 計742 (H30)猪220、鹿150、カラス等500 計870 →猪221、鹿190、カラス等85 計486 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	680頭羽	500頭羽	870頭羽	870頭羽	870頭羽		被害対策協議会等、各地区の狩猟代表者が集まる場において、鳥類駆除への協力を要望し、捕獲数増加・目標値達成を目指していく。
			実績値	566頭羽	600頭羽	742頭羽	679頭羽			
			達成(評価) (C)	－	A	B	B			
			事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ○捕獲数 500頭羽(猪 220頭、鹿 150頭、カラス・狸・ハクビシン・アナグマ・サル 870頭羽) カラス等鳥類については、狙うことが困難なことや他市町村と比較し、金額に差があり対象となり得ないこともあり、駆除を行う者が少ないため、捕獲数が少ない。						
	2. 有害鳥獣被害防止事業【m】  (H27)防止策延長 (H28)同上 10,000m (H29)同上 10,000m →9,026mで完成(A評価) (H30)同上 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	－	10,000m	10,000m	10,000m			引き続き窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図かり、事業を進めていく
			実績値	8,340m	7,539m	9,026m	9,666m			
			達成(評価) (C)	－	B	A	A			
			事業内容 (D)	【H30年度の取組】 窓口案内、広報等で周知を図ってきた。JA高知県 香美支部による案内等、各関係機関の協力で、農家等多数の住民が本事業を活用し、鳥獣被害防止に貢献できている。 なお、目標値10,000mに達していないが、対象地区をすべて完成となったことから、評価はA。						

平成30年度の実績

【林業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	600ha以上(累積)		・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の( )の数字は、その 年度に実施した面積。
	実績値 (年度実施面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)				
	達成 (評価)	B	C	C	C				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の実績について】

豪雨等の自然災害により、予定されていた森林所有者境界明確化対象地を「香我美町撫川地区」に変更した。  
また、実施予定だった50.61haにおいて、所有者の同意が得られなかった森林があり、実績値は22.71haとなった。  
今まで課題とされていた「森林の所有者の特定」については、香美森林組合と「所有者不明の森林の一覧表」を共有し、森林法第191条の2を根拠に、税務課の情報を活用し、市から現在の所有者に案内文を送付し、所有者の特定に協力し、案内文を送付した2件中、1件から回答があったが、隣接する森林で同意が得られなかったため、実績には繋がらなかった。

【R元年度の実績について】

香我美町撫川で50ha実施予定である。  
目標値の600haには大きく届かない見込みであるが、R元年度の計画を予定どおり事業を実施できるように、香美森林組合と連携し、森林所有者の特定に協力をおこなっていく。  
また、森林所有者に事業の理解が得られるよう、「森林境界明確化」について周知強化し、同意者を増やしていく。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称		目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)		実績値							
基盤整備	◆林業の振興									
	1. 林道道路側溝整備事業		年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】
	(H27) ①畑山・奥西川線側溝土砂撤去 (H28) ①城山・羽尾線 L=7,094m ②畑山・奥西川線擁壁工事 ③同 舗装工事 (H29) ①畑山・奥西川線擁壁復旧工事 ②同 舗装工事 ③畑山・仲木屋線側溝清掃 ④城山・羽尾線修繕 (H30) ①畑山・仲木屋線擁壁復旧工事 ②城山・羽尾線側溝清掃工事 ③城山・羽尾線舗装工事 ④水源の森保育育間伐事業 (R元)	目標値	① ー ②L=8,273m	①L=2,500m ②③④	①L=10m A=41.7㎡ ②A=800㎡ ③L=4,500m ④L=8m、 A=29㎡	①L= 5.0m A=16.5㎡ ②L=3,000㎡ ③A=400㎡ ④33,191㎡	①林道施設 災害委復旧 ②A=2,000 ㎡ ③ L=1,000m		H30年度7月豪雨により被災した 各林道施設のうち、今年応急仮 工事までで終了している3路線4 箇所を順次施工。  また、舗装部を全路線で A=1,000m2程度施工。  各林道施設の状態を考慮し、特 に改善の必要な路線において L=2000m程度側溝の清掃を実 施。	
	実績値	①L=1,000m ②L=8,273m	①L=2,500m ②完了 ③未完了 ④完了	①L=10m、 A=39.5㎡ ② A=1099.2㎡ ③L=3,380m ④L=8m、 A=30.9㎡	①L= 5.0m A=16.5㎡ ②③中止 ④33,191㎡					
	達成(評価) (C)	ー	① A ② A ③ C ④ A	① A ② A ③ B ④ A	① A ② C ③ C ④ A					
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 畑山・仲木屋線擁壁復旧工事及び水源の森保育育間伐事業は予定どおり実施済。 城山・羽尾線側溝清掃業務及び舗装工事は豪雨等の自然災害により、各林道施設の被災、 孤立集落の解消等を行うため、H30年度に予定していた工事を見直し、緊急性の高い工事を 優先して行うことになったため再協議となる。								
森林資源保全	◆林業の振興									
	1. 緊急間伐総合支援事業		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 (H28) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 ④人工造林 ⑤被害防護ネット (H29) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 ④人工造林 ⑤被害防護ネット (H30) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 (R元)	目標値	① 5ha ②57ha ③3,300m	①10ha ②30ha ③2,800m ④3ha ⑤1,000m	①10ha ②30ha ③2,800m ④3ha ⑤1,000m	①10ha ②58ha ③1,700m	①11.43ha ②20ha ③未確定		切捨間伐はH30年度の繰越分の 1.43ha及びH31年度実施分10ha (市内全域を対象)を実施予定。	
	実績値	① 0ha ②15ha ③1,880m	① 0ha ②16ha ③2,802m ④次年繰越 ⑤次年繰越	① 23.98ha ② 22.45ha ③ 1,247m ④ 2.7ha ⑤ 887m	①8.57ha ②26ha ③990m			保育間伐は20haを実施予定。(香 我美町舞川・撫川・奥西川、夜須 町仲木屋)  作業道整備は 100m(夜須町仲 木屋)を実施予定。  なお、昨年の7月豪雨により被害 を受けた県道・作業道の復旧が 完了次第、事業を実施する。		
	達成(評価) (C)	① C ② C ③ C	① C ② C ③ A ④ C ⑤ C	① A ② B ③ C ④ B ⑤ B	①B ②C ③A					
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 切捨間伐については、事業が計画期間内に全て終わらなかったため、緊急間伐総合支援事 業費補助金の申請は持越しとなる。8.57haは実施済みであり、残り1.43haを次年度に実施す る。 保育・搬出間伐については、豪雨等の自然災害により、県道・林道が崩壊した影響で林業機 械の搬入・木材輸送が不可となったため、H30年度の実績値は目標値を下回った。 作業道整備については、豪雨の影響により作業箇所が縮小(990m)され事業完了。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称 ○具体的な取組 (P)	目標値							A/B/C		
		実績値									
森林資源保全	2. 森林整備地域活動支援事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H28)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H29)①森林経営計画作成 ②森林所有者境界明確化 ③設業集約化 ④条件整備 (H30)①森林所有者境界明確化(夜須町沢谷) ②条件整備(夜須町沢谷) (R元)	目標値	①203.75ha ②10ha ③224.97ha	①100ha ②5ha ③50ha	①100ha ②35ha ③5ha ④5ha	①50ha ②38ha	①50ha ②38ha		R元年度は、香我美町撫川で森林経営計画50ha作成及び森林境界明確化 50ha実施予定。  森林境界の明確化においては、計画どおりに事業を実施できるよう、今後も香美森林組合と連携しながら、森林所有者の特定に協力していく。		
		実績値	①81.5ha ②5ha ③76.05ha	①84.41ha ②③未実施	①98.3ha ②③④未実施	①22.71 ②中止					
		達成(評価) (C)	① C ② C ③ C	① B ② C ③ C	① B ② C ③ C ④ C	① C ② C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 豪雨等の自然災害により、境界明確化対象地が「香我美町撫川地区」に変更となり。それに伴い、条件整備は中止となった。  また、境界明確化において、所有者の同意が得られない森林があり、実績値は22.71haとなった。								
	3. 森林・山村多面的機能発揮対策事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27)－ (H28)－ (H29)事業の取組に向けた準備。整備 (H30)林業事業体の周知 (R元)	目標値	－	－	準備・整備	事業周知の徹底	事業周知の徹底		申請窓口が高知県森と緑の会のため、森と緑の会に周知方法を相談し、事業の説明用に使用しているチラシ等を貰い配布し、それを基にR元年度内に香南市の広報に掲載を予定。また、市内の林業関係者に事業を周知する。		
		実績値	－	－	事業に対する要綱等を整備	未実施					
		達成(評価) (C)	－	－	A	C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 当初、具体的な取組を「事業の取組に向けた準備・整備」としていたが、第2回林業部会において意見をいただき、「林業事業体への周知」に変更。 事業の活用に繋げるため、市内の林業関係者に対して本事業の紹介を行うために、資料の作成に努めたが、準備不足等もあり次年度に繰越となった。								
	4. 林地台帳整備事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30)本事業の取組に向けた準備・整備 (情報の追加・更新等) (R元)	目標値	－	－	－	準備・整備	システムの整備		H30年度の閲覧・情報提供の申請件数は2件と少なかったことから、周知を図る。		
		実績値	－	－	－	－			本事業を円滑に行うため、県と連携し、情報の追加・更新を進めていく。		
		達成(評価) (C)	－	－	－	－					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 高知県森づくり推進課が進める、台帳の情報更新するために必要なデータに予期せぬ事由が発生し、当初予定していた準備・整備の実施に至らなかった。 本事業に必要なデータの構築に時間がかかっていることから、次年度へと繰越となる。								
	5. 水源の森整備事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) 搬出間伐 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30)要望なし。R元年度に向けた推進の実施 (R元)	目標値	5ha	5ha	5ha	－	10ha		R元年度は香美森林組合より要望があり、香我美町撫川・奥西川で10ha実施予定。		
		実績値	5ha	5ha	5ha	7.88ha					
		達成(評価) (C)	A	A	A	－					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 間伐の施業箇所が水源の森整備事業費補助金の対象外であったため、H30年度当初より本事業は未実施の予定であったが、緊急間伐総合支援事業(搬出間伐)の実施箇所の変更に伴い、本事業の対象地となったため実施。								
	6. 森林整備推進事業 (高性能林業機械導入)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) ①スイングヤーダ ②プロセッサ (H28) ①木材自動選別機 ②脱着式コンテナ (H29) ①パワーヤーダ ②脱着式コンテナ (H30) ①8tベース・グラブ付きトラック ②プロセッサ (R元)	目標値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	スイングヤーダ 1台導入		R元年度は、スイングヤーダ1台を導入予定。		
		実績値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②次年繰越	①1台導入 ②1台導入	①中止 ②導入					
		達成(評価) (C)	A	B	A	C					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ①については、国費不採択。導入についてはH32年度以降の協議とする。 ②についてはH31.3月に導入済。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
木質バイオマス	◆林業の振興								
	1. 森林の活用  (H27)①木質バイオマス供給対策 ②利用促進対策 (H28) 農業ハウス用ペレットボイラー数 2基の運用 ※ H31年度3月末までに用意する数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	2件	2件	2件	2件	2件		耐用年数に達したため、R元年度中に利用者に対して譲渡する。
		実績値	2件	2件	2件	2件			
		達成(評価) (C)	A	A	A	A			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 問題なく利用が実施されているが、今後耐久年数等の問題もあり、利用者と協議が必要。 また、バイオマスボイラーを活用した農業の活用例などの話があり、今後、安定して高品質なペレットが供給できるか等の問題がある。						



平成30年度の実績

【水産業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200t以上 維持(年)		<b>【根拠数値】</b> ・H27～29 県漁協3支所(手結・赤岡・吉川統括)の水揚げデータ ・H30～ 県漁協3支所及び漁協水揚げデータに反映されない2統(イワシシラス)の生産量 ※H30県漁協3支所 → 1,058t
	実績値	1,086	693	839	1,119				
	達成 (評価)	B	C	B	B				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の実績について】

H30年度第3回水産部会においてご意見をいただき、目標数値である「沿岸漁業総生産量」については、これまでの市内3漁協の生産量に加え、市内民間企業の生産量を加えた数字へと変更した。

目標値(沿岸漁業総生産量)1,200tに対し、実績値は1,119tであったことから、取組評価はBとした。

戦略の柱となる「改修整備」については、県漁協赤岡支所で荷揚施設の増設を実施し、また手結支所では製氷機更新を行い、水揚げの迅速化、漁業者の労力の軽減による生産性の向上及び鮮度保持及び荷捌業務の維持を図ることができた。

また、「経営基盤強化」については、ここ数年は新規漁業就業者の確保に至っていない状況であった。このような状況の中で、就業希望者の相談窓口が一元化され、H30.10月より県漁業振興課に相談窓口が設置された。その後、漁業就業希望者を総合的に支援する組織の検討・協議に参加し、4月1日に「(一社)高知県漁業就業支援センター」が設立され、支援制度が拡充されるなど、より一層新規漁業就業者を確保する体制が整備された。「生産・加工・流通・販売」においては、県漁協手結支所のシラス等販売額が順調に増加している一方で、イワシシラスについては学校給食納入に向けた取り組みを実施しているが、サンプル品評価を受け、大きさ・混獲物除去・配送時間等様々な課題があり、実現していない。

【R元年度の実績について】

今後の水産業を考える上で後継者及び新規漁業就業者の確保は非常に重要になってくる。そこで、新たに設立された「(一社)高知県漁業就業センター」と連携し、市内漁業形態とマッチしたセンター事業を活用し、新規就業者確保に繋げる取り組みを行う。併せて、既存漁業者に対しても、エンジン導入に伴う燃費向上等の経費削減に対しての支援を実施することにより、漁業者の所得向上を図る。

また、シラス漁における所得向上対策の検討については、生産・加工・流通・販売の一連の流れの中で対策を考えていく必要があり、シラス漁に特化した話し合いの場を持ち、先進地事例を話し、視察することで、今後どのように取り組んでいくか検討していく。同時に昨年度から実施している学校給食納入に向けた取り組みについても、加工場視察を行い総合的な製品評価により、実現に向けて関係機関と連携をしていく。

また、令和2年度から始まる「第2期計画」に向け、例えば、目標数値を「沿岸漁業総生産量」から「沿岸漁業総生産額」に変更することや各事業がその目標値に紐づけされているかの整理を行う。

戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称		目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)		実績値								
改 修 整 備	◆水産業の振興										
	1. 水産機能施設の整備 (老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備) 【改修・整備件数】 ○老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備件数 10件 (H26からの累計) (H27) 施設改修・整備 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	8件	8件	8件	10件	12件			○県漁協吉川統括支所 ・水産機能施設改修事業 共同作業施設(漁具倉庫)の雨漏り補修集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新	
		実績値	6件 (H26年度3件込)	11件	15件	17件				・各支所単位で支所長・地区代表へのヒアリングを通じて、設備改修・整備を実施していく。 今後は支所・市場の廃統合も議論されていく予定であり、その動向も踏まえ、対応を検討していく必要がある。	
		達成(評価) (C)	A	A	A	A					
	事業内容 (D)	【老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備】 【H28年度の取組】 ①赤岡支所水産機能施設荷捌所排水施設修繕、②赤岡支所水産機能施設荷捌所ネット・バートピン設置、③赤岡支所水産機能施設ホストクレーン取替、④手結支所荷捌所フォークリフト購入、⑤手結支所製氷冷蔵施設のアイスカーター取替 【H29年度の取組】 ①吉川漁具倉庫バートピン等設置工事、②赤岡水産機能施設荷捌施設防水工事、③手結支所活魚スペースのフェンス及びグレーティング取替工事、④赤岡水産機能施設荷捌施設ホストクレーン設置工事設計業務、⑤赤岡水産機能施設荷捌施設排水施設修繕 【H30年度の取組】 ①赤岡水産機能施設荷捌所荷揚施設設置工事、②手結支所製氷機更新工事  ※ 目標値はH26年度からR元年度までの累計件数で、あくまでも老朽化による改修・整備の予測数値である。 実際はH30年度時点までの累計は17件で、すでに目標値は達成しているが、要改修・整備等の施設が増加しているのが現状である。									



戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称 ○具体的な取組(P)	目標値							A/B/C		
		実績値									
改 修 整 備	2. 漁港施設の整備改修整備率	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) ①吉川漁港災害復旧工事 ②水産物供給基盤機能保全事業 ③住吉漁港灯浮標補修工事 ④県営事業 (H28) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港施設用地舗装復旧工事 ③吉川・住吉漁港航路標識保守点検 ④県営事業 (H29) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②海岸保全施設長寿命化計画策定 ③県営事業 (H30) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港海岸堤防耐震調査事業 ③県営事業【赤岡漁港3号導流堤保全工事、赤岡漁港浮桟橋設置、河川海岸高潮対策事業、岸本海岸離岸堤 消波ブロック製作・据付】 (R元)	目標値	-	37%	30%	37%	43%		・機能保全計画に沿った保全工事の実施。  ・吉川漁港海岸堤防耐震化の事業化に向けて関係機関と調整。  ・県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動を継続して実施予定。		
		実績値	-	30%	25%	31%					
		達成(評価)(C)	-	B	B	B					
		事業内容(D)	水産物供給基盤機能保全事業における整備率 【H27年度の取組】 整備率の算出を「実績整備額/計画整備額」で算出していたが、計画初期に改修する施設の額が大きく整備率も初期に上がるので、H29年5月の産振水産部会で、施設数での算出「実績施設数/計画施設数」へ変更し、28年度以降の目標数値を変更。結果、算出方法がH28年度から変更したので、実績数値がH27年度より下がることとなる。 【H28年度の取組】 3.5(実績施設数)/18(計画施設数)=19.0%【吉川漁港:-2.0m物揚場(北)・導水施設(B)】 【H29年度の取組】 4.5(実績施設数)/18(計画施設数)=25.0%【吉川漁港:-1.5m物揚場(北) 住吉漁港:東防波堤】 【H30年度の取組】 5.5(実績施設数)/18(計画施設数)=30.6%【吉川漁港:-1.5m物揚場(北)・船揚場(4)】								
経 営 基 盤 強 化	◆水産業の振興		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
	1. 新規漁業就業者の確保【人】	(H27) 研修生への継続支援 (H28) 赤岡地区の新規就業希望者への技術研修支援 (H29) 新規漁業就業希望者の募集 (H30) ①新規漁業就業希望者の募集 ②民間企業や漁協が行う担い手育成の支援を行う国や県の雇用型事業の推進による新規漁業就業者の確保 (R元)	目標値	研修継続支援	1名	1名	1名	1名		(一社)高知県漁業就業支援センター 設立(H31.4.1)	
		実績値	研修継続支援実施	1名	0名	0名				センター事業への支援・連携・活用 【自営漁業者育成事業】 【雇用型漁業支援事業】 【漁家子弟支援事業】	
		達成(評価)(C)	A	A	C	C					
		事業内容(D)	【H29年度の取組】 市内主要漁業形態は1人での漁業就業は難しい状況。 【H30年度の取組】10/15 高知県漁業支援センター運営開始(10/15) 漁業就業希望者を総合的に支援する新たな組織の検討・協議への参加(全第3回 12/6・2/21・3/19) 漁業体験研修(短期研修)1名受入(養殖業)								
	2. 漁場の保全 (海藻類育成被度%)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H28) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H29) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H30) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海 (R元)	目標値	46%	52%	58%	64%	70%		【手結地区藻場活動】 大型海藻類の育成のため、母藻の設置を継続実施できる体制の確保		
		実績値	44%	44%	52%	47%			【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用の網を少しずつ整備し、出水時でも掃海できるようにしていく。		
		達成(評価)(C)	B	B	B	B					
		事業内容(D)	【H28年度の取組】 母藻の設置(1)、ウニ駆除(5)、魚類駆除(1)、モニタリング(1) 【H29年度の取組】 ウニ駆除(7)、モニタリング(2) 【H30年度の取組】 ウニ駆除(2)、モニタリング(2) 豪雨及び相次ぐ台風の影響により、活動がほぼできなかった。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
経営基盤強化	3. 漁業者の所得向上(沿岸漁業総生産)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成		【今後の取組】	
	(H27)①操業効率化を図るための衛星通信機器の整備等 ②手結:エンジンリース事業 ③所得向上に向けた協議 (H28)①エンジンリース事業 ②沖合養殖振興事業の実施 (H29)①沿岸漁業総生産量 ②エンジンリース事業 ③シラス業における所得向上検討 (H30) ①沿岸漁業総生産量 1,200t /年 (H24～H26平均) ②沿岸漁業総漁獲高 238,000千円 (H27～H29平均) ③沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の要望整理 (R元)	目標値	1,200 t	1,200 t	1,200 t	1,200 t	1,200 t			・沿岸漁業設備投資促進事業 (エンジン導入) エンジン導入に伴う燃費向上等の経費削減及び生産性の向上に対しての支援を実施し、漁業者の所得向上を図る。	
		実績値	1,086 t	693 t	839 t	1,119t				・シラス漁における所得向上 対策の検討 生産・加工・流通・販売の一連の流れの中で対策を考えていく必要があり、先進地事例を探し、視察することで、今後どのように進めていくか検討することも考えていく。 また、シラス漁に特化した話し合いの場を持つことも検討していく。	
		達成(評価) (C)	B	C	B	B				・種子島周辺漁業対策事業 県漁協手結支所が行う「築いそ設置事業」により、イセエビの生産量の増加・漁業者の所得向上を図る。	
		事業内容 (D)	県漁協3支所(手結・赤岡・吉川統括)の生産量 ※R元年度(H31年度)の目標値はH24～26の平均値  【H28年度の取組】 赤岡・吉川におけるシラス漁獲高が例年になく不漁であった。 【H29年度の取組】 (生産量:前年比120%・目標値70%) 【H30年度の取組】 (生産量:前年比133%・目標値93%) (注)H30年度より吉川漁港漁協水揚げデータに反映されない法人経営体生産量追加  県漁協3支所(手結・赤岡・吉川統括)漁獲高 H27年度＝2億5670万円 H28年度＝1億6478万円 H29年度＝2億9276万円 H30年度＝3億5887万円(前年比123%・目標値151%) (注)H30年度より吉川漁港漁協水揚げデータに反映されない法人経営体漁獲高追加								
経営基盤強化	4. 観光漁業の推進 (地引網漁業経営体の維持)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成		【今後の取組】	
	(H27) 観光地引き網案内看板の設置 1か所 (H28) 地引き網体験(小学生)1回 (H29) 遊漁・観光漁業への取組HPのリニューアル (H30)取組、議論ともに停滞のため一時検討を中止 (R元)	目標値	1経営体	1経営体	1経営体	1経営体	-			-	
		実績値	1経営体	1経営体 (休業中)	1経営体 (休業中)	-					
		達成(評価) (C)	A	C	C	-					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 H30年度より 取組検討を一時中止								
生産・加工・流通・販売	◆水産業の振興										
	1-1. 水産加工品流通販売の推進 【給食センターへの食材納入回数】(回数)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成		【今後の取組】	
	(H27) ①食育授業実施 - 未実施 ②小学生の三枚下ろし・地引き網体験未実施 (H28) ①地元漁業の学習 2回実施 (H29) ①給食へのシラス納入検討 ②シラスの釜揚げ体験等の学習 4回 (H30) ①釜揚げ体験・食育学習 ②給食へのシラス(かちりじゃこ)納入検討 ③世代間交流事業 (R元)	目標値	11回	11回	11回	11回	11回			シラス(かちりじゃこ)の学校給食納入に向けて取り組みを継続。 ○ 給食センターによる加工場視察 ○ 課題解決策検討 ・配送時間対応 ・混獲物除去・大きさ等	
		実績値	19回	22回	23回	22回					
		達成(評価) (C)	A	A	A	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ①釜揚げ体験・食育学習:H31.3.8 赤岡小学校三枚おろし体験を実施 ②給食へのシラス納入検討 加工業者への納入希望アンケート実施 給食センターへのサンプル品提出→評価・再評価の実施 給食センターによる加工場視察は年度内未実施 ③世代間交流事業:H30.11.18 赤岡小学校で調理体験等を実施								
	1-2. 水産加工品流通販売の推進 【流通に伴う取組と設備】 (手結支所販売額)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成		【今後の取組】	
	(H27) - (H28) ①手結:加工所整備事業(ヘッドカッター導入) (H29) - (H30) ①シラスを地元飲食店へ納入開始 (manamana) ②香南市産業振興計画施設等整備事業【保冷車購入】(県漁協手結支所) (R元)	目標値	1,500万円	1,500万円	1,500万円	3,000万円	3,000万円			R元年度より、委員には参加していないが、内水面漁業関係者からの意見・課題等の聞き取りを実施し、部会の中で報告し、振興策の検討を実施できるような体制づくりを行う。  市内水産物の認知度向上に向けた取り組み(ネーミング等)	
		実績値	2,299万円	4,058万円	4,426万円	6,328万円					
		達成(評価) (C)	A	A	A	A					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 学校給食へのシラス納入回数は目標値を達成。手結支所加工販売額は前年比143%と順調に伸びている。								

平成30年度の実績

【商工業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	500億円 以上維持(年)		【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末に公表されるため、実績値は、調査の対象機関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	397				
	達成 (評価)	B	B	B	B				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の取組について】

【工業分野】

目標値(製造品出荷額等)500億円に対し、実績値は397億円であったことから、取組評価はBとした。

工業分野の戦略の柱となる「ものづくり基盤整備」については、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が丸三産業(株)に譲渡決定するなど、目標が達成されつつあり、立地企業の「会社説明会・面接会」を県やハローワークと連携して開催することで、多数の参加と地元雇用の確保に繋がった。

また、若年層にニーズの高い事務系職種の企業誘致を推進するため、空き店舗等を有効活用した商店街の活性化や移住・UIターン等の促進にも繋がる助成制度を12月に制定し、空き店舗等の物件調査と包括連携協定を締結したイシン(株)と連携して首都圏企業への誘致活動を行うなど、新たな企業誘致の取組を進めることが出来た。

一方、「ものづくり」においては、行政や企業間の情報交換の場として香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会を開催し、各種支援事業の紹介や「働き方改革セミナー」や「人材育成」などの講演を行うことで内容の充実を図ったものの、各種支援事業については実績値が目標値に達していない事業が多く、周知不足や補助金交付要綱の見直しを行うなど、課題を残すこととなった。

【商業分野】

香南カーニバルにより一時的な「商業の活性化」に繋がった一方で、継続的な活性化に繋げるためには各商店等の経営者が感じている『悩みやニーズ』について整理が必要と感じ、H30.12月よりのいち駅周辺の事業者(商業店107件)を対象にアンケート調査を実施し、R元年度以降の商業分野施策の参考として活用を行う。

また、香南市の商業における課題である「空き店舗の解消」に向けた取組を進める中で、新たに空き店舗を活用し起業される方への施策の拡充を検討してきた一方で、貸し手側の調査(空き店舗物件の整理)が不十分であることから、市内の各不動産会社に出向き、「空き店舗の情報収集」を実施した。さらに、市内不動産業等からの空き店舗情報を、商工会HP、香南市HP、創業支援サイトであるこうち創業village等に情報を掲載した。

【R元年度の取組について】

【工業分野】

丸三産業(株)香南工場の操業開始(R元.6月予定)に向けて、安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努めるとともに、引き続きルネサス高知工場の元従業員や、協力企業の方で再就職先が決まっていなかった方に対して高知労働局や県と連携し、雇用支援に取り組んでいく。

また、川谷刈谷工場用地が早期分譲となるよう引き続き県と連携し、企業誘致や立地後の雇用支援に努めるとともに、企業訪問を継続して行うことで既存企業の現状や課題を把握し、ニーズに合った事業紹介や事業拡大に繋がる企業支援制度の見直しを行い、雇用の促進と生産性の向上を図る。

くわえて、事務系企業誘致を加速するべく空き店舗等の物件調査を継続し、首都圏企業のニーズにあった物件提供を行うとともに、引き続きイシン(株)と連携して早期の企業立地に繋がる取組を進める。

【商業分野】

空き店舗を活用し起業する際に活用できる「香南市空き店舗対策事業費補助金」の要綱を一部改正し、補助対象者および補助対象経費を拡充し、県の同補助金を活用できない方でも、市補助金で一部補えるようになることから、市内外への周知をこれまで以上に強化し、香南市内での起業を促すことで、空き店舗の解消に努めていく。

また、H28年度より国から認定を受けている「香南市創業支援計画」は認定より3年が経過し、内容を見直す時期にきていることから内容を再度検討し、より創業者の支援が図れるよう、商工会等と連携してブラッシュアップを行っていく。

平成30年度 第2回産業振興計画 商業部会においてご意見をいただいた「キャッシュレス決済」の推進に向けて、香南市の事業者(商業者以外も含む)にとってプラスに働くかを見極め、支援策を検討していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
ものづくりの基盤整備	◆企業誘致の促進									
	1. 香南工業団地整備事業 【販売区画数】  (H27) 区画の早期完売 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 残り1区画(A区画)の早期完売 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	1件/年	2件/年	1件/年	1件/年	-		団地内及び周辺環境整備や適切な維持管理。	
		実績値	1件	2件	1件	1件	-		1号調整池の浚渫(H30年度繰越)	
		達成(評価)(C)	A	A	A	A	-			
		事業内容(D)	【H27年度の取組】・・・第十工業(H27.3.24操業) 【H28年度の取組】・・・(株)精工(H29.2.1創業) / (株)山本貴金属(H29.3.31施行) 【H29年度の取組】・・・(株)泉井鉄工所(H29.7.着工) 【H30年度の取組】・・・みずまる加工(株)(H31.3.29竣工) ・A区画土地譲渡契約締結(6/14) (H31.3.29竣工後、試験操業開始予定) ・防犯灯の設置4箇所⇒(合計8箇所)      ・受水槽電動バルブ取替 ・A区画付近法面の草刈実施                      ・立地企業案内看板の設置							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
		事業名称	目標値							A/B/C
		○具体的な取組(P)	実績値							
	ものづくりの基盤整備	2. 香南工業団地企業立地促進事業 【採用数】  (H27) 補助金交付額 (H28) 雇用促進・産業活性化 (H29) 同上 (H30) 立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る。 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	-	-	-	28人	16人		引き続き立地企業の雇用支援に取り組んでいく。 [みすまる加工(株) 製造スタッフ募集時期] ・2次募集(R元年9～10月) 10名予定 ・3次募集(R2年3～4月) 6名予定
			実績値	-	40人 (市民20人)	19人 (市民12人)	8人 (市民3人)			
			達成(評価)(C)	-			C			
			事業内容(D)	【H28年度の取組】・・・第十工業(株) 2人雇用(内地元雇用1人) 補助金交付額 9,777千円 ・・・(株)精工 40人雇用(内地元雇用20人) 補助金交付額 51,799千円 【H29年度の取組】・・・YAMAKIN(株)15人雇用(内地元雇用10人) 補助金交付額 24,267千円 ・・・(株)泉井鉄工所4人雇用(内地元雇用2人) 補助金交付額10,702千円 【H30年度の取組】・・・みすまる加工(株)25人雇用予定(内地元雇用半数以上) 補助金交付予定額23,495千円 ・みすまる加工(株)会社説明会、面接会の開催(9/23～24) ※2日間で23名の参加 → 8人雇用(内地元雇用3人) ・市HP及び市広報紙への掲載、香南CATVへのテロップ放送を実施						
		3-1. ルネサス高知工場及び 川谷刈谷工場用地 【ルネサス高知工場】 (譲渡件数) (H27) - (H28) 譲渡にむけた取組 (H29) 同上 (H30) ルネサス従業員の雇用確保及び 事業承継先の確保 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	-	1件	1件	1件	-		丸三産業(株)の操業開始に向けて工業用水の安定的な供給について地域及び関係団体との調整に努める。 また、引き続きルネサス高知工場の元従業員や、協力企業の方で、県内の再就職先が決まっていない方に対して高知労働局を中心に情報を提供していく。
			実績値	-	0件	0件	1件	-		
			達成(評価)(C)	-	C	C	A	-		
			事業内容(D)	【H29年度の取組】 ルネサス社との協議を通して、ルネサス社においては銀行や証券会社等の様々なルートを通じたアプローチ先の掘り起こしや現地視察の受け入れをするなど、承継先の確保に精力的に取り組んでいることを確認。 【H30年度の取組】 ＜ルネサス高知工場＞ ※H30.5月末工場閉鎖 ルネサス従業員の雇用確保及び事業承継先の確保 ・ルネサス社(東京本社)との協議3回(4/6、6/5、2/6) ・ルネサス高知工場雇用対策連絡会議への出席(5/11、6/1) ・丸三産業(株)訪問(6/13) ・ルネサス高知工場の譲渡契約締結(9/28) ※譲渡先:丸三産業(株) ・丸三産業(株)との企業進出協定締結(10/4)・企業合同説明会の開催(10/16) ・会社説明会、面接会の開催(11/17、18) ※2日間で約150名の参加						
		3-2. ルネサス高知工場及び川谷刈谷 工場用地 【川谷刈谷工場用地】 (譲渡件数) (H27) - (H28) 譲渡にむけた取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	年度達成	【今後の取組】
			目標値	1件	1件	1件	1件	1件		引き続き県と連携して早期分譲に努める。 また、用地周辺の整備、立地企業の操業、雇用支援を行う。
実績値	0件		0件	0件	0件					
達成(評価)(C)	C		C	C	C					
事業内容(D)	【H29年度の取組】 ルネサス高知工場の従業員の雇用の維持、継続も視野に入れて活用することが和解契約にも明記されていることから、今後、承継先の確保とそれに伴う、従業員の動向も見極めながら、分譲先の確保や選定を慎重に進めていく必要がある。 【H30年度の取組】 ・川谷刈谷工場用地単独での活用を視野に再公募開始(4/23) ・川谷刈谷工場用地選定委員会(5/28)→未決定 ・川谷刈谷工場用地の草刈を実施(高知県分 7月上旬実施) ・香南工業用水の使用を条件から外して再公募開始(1/15～3/8) ・川谷刈谷工場用地選定委員会(3/18)									



戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
ものづくりの基盤整備	新	4. 企業立地優遇制度の策定 【誘致企業数】 (H27) — (H28) — (H29) — (H30) ①条例の策定 ②奨励措置の新設 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	—	—	—	制度策定	企業立地 2件		R元年度は2社の事務系企業誘致を目指す。 企業誘致に繋がる空き店舗や シェアオフィスの確保。 首都圏企業を訪問し、企業誘致活動を行う。 首都圏企業による香南市視察ツアーを開催。 製造業等の企業に対する誘致や事業拡大に繋がる支援制度の見直しを行う。	
		実績値	—	—	—	制定済				
		達成(評価)(C)	—	—	—	A				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・首都圏企業経営者高知視察ツアー交流会への参加(7/6に7社と面談) ・宮崎県日南市への先進地視察(9/26～9/27) ・首都圏企業香南市視察(11/15～16) ・インシ(株)との包括連携協定締結(12/18) ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金を制定(12/26) ・空き家、空き店舗物件調査(2/13現在で13物件) ・首都圏企業訪問(2/6～7で6社と面談) ・高知県立地企業(事務系企業)交流会への参加(2/8)							
ものづくり	◆既存企業の育成・支援									
	新	1. 香南市香我美町企業立地交流会【開催回数】 (H27) 交流会の開催 (H28) 同上(8企業:14名) (H29) 同上(8企業:13名) (H30) 同上(8企業:10名) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回		R元年度より操業開始を予定している丸三産業(株)及びみすま加工(株)に入会を勧めるとともに、開催に向けて懇談会の内容を充実させ、参加者数の増加を図る。 ※R元 会員予定企業11社 (前年比+2社)
		実績値	1回	1回	1回	1回				会員の企業訪問を行い、雇用や経営状況、課題等を把握し、支援策に反映させる。
		達成(評価)(C)	A	A	A	A				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・11/21 (8企業10名の参加)講演会 :これからの「働き方改革」セミナーを開催 ・ルネサス高知工場の閉鎖に伴い、関連企業を含め3社が退会したが、新たに宇治電化学工業(株)と(株)泉井鉄工所が入会し、企業間での交流や行政からの情報提供を行う事が出来た。 ※H30会員企業:9社(前年比+1社) ・「働き方改革」セミナーを開催することで、働き方改革関連法案や各種助成金の活用方法を紹介しながら、改革を進めていく上で組織として大事にしていきたいヒントを得る事が出来た。							
	新	2. 香南市ものづくり会【開催回数】 (H27) 会の開催 (H28) 同上(6企業6名) (H29) 同上(未実施) (H30) 同上(7企業8名) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回		香我美町立地企業交流会との合同開催を検討し、市内のものづくり企業間の交流の充実を図る。 また、会員の企業訪問を行い、雇用や経営状況、課題等を把握し、支援策に反映させる。
		実績値	1回	1回	1回	1回				
		達成(評価)(C)	A	A	C	A				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・2/21開催(7企業8名の参加)講演会:「若者の人材育成を考える」を開催 ・高知職業能力開発短期大学校の施設見学を行い、施設の利用促進を図るとともに、人材確保を目的として自衛隊員の再就職支援について説明を行った。							
	拡	3. 香南市産業人材育成事業【交付件数】 (H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上(対象事業を拡充) (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
目標値		5件	5件	5件	5件	5件	5件		香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会、企業訪問等で事業紹介を行うとともに、企業のニーズにあった研修プランを具体的に提示し、利用の促進を図る。	
実績値		0件	0件	1件	1件					
達成(評価)(C)		C	C	C	C					
事業内容(D)		【H29年度の取組】 ・補助金交付要綱の一部改正し、事業の拡充を図った。 (改正内容:講師招聘による市内開催研修を追加) ・市ホームページへの掲載 ・香南市香我美町立地企業交流会で紹介(7/19) ・企業訪問により事業紹介を行った。(3社) ・県内3大学へ事業説明に訪問。 (6/26、6/28、6/30)  【H30年度の取組】 ・補助金交付要綱の一部改正し、事業の拡充を図る。 【改正内容:公的団体以外の法人が実施する研修等を補助対象事業に追加】 ・市ホームページへの掲載 ・企業訪問や懇談会での事業紹介 ・問い合わせ5件、申請2件(ただし、1件は事業廃止となる)								



戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
ものづくり	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業【交付件数】  (H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	10件	10件	10件	10件	10件		補助金交付要綱を一部改正し、対象業種の拡充をしたことで利用の促進を図る。 商工会や県内の学校と連携し、事業所や対象となる学生に対して周知を行い、利用の増加を図る。		
		実績値	0件	0件	0件	0件					
		達成(評価)(C)	C	C	C	C					
		事業内容(D)	【H29年度の取組】 ・市ホームページへの掲載 ・県内3大学へ事業説明に訪問。(6/26、6/28、6/30) ・市内企業訪問の際、事業説明。 【H30年度の取組】 ・市ホームページへの掲載 ・企業訪問による事業紹介 ・日本学生支援機構等外部サイトへの事業紹介の掲載 ・補助金交付要綱を一部改正し、事業の拡充を図った。【改正内容:対象業種を拡充】								
	5. 香南市インターンシップ支援事業【交付件数】  (H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	10件	10件	10件	10件	-		企業のニーズにあった補助事業ではないためR2年度より事業廃止。  雇用確保に繋がる新規事業を検討 ※城山高校で地元企業による合同説明会を2/12に開催予定		
		実績値	0件	0件	0件	0件	-				
		達成(評価)(C)	C	C	C	C	-				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 現在、市内企業へのインターンシップは宿泊を要しないケースが多く、事業の利用に至っていない。 R元年度より事業を廃止。								
	6. 中小企業者の生産性向上支援事業【認定件数】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - 新 中小企業者の先端設備等導入計画の認定(R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	-	-	30件			香美美町立地企業交流会や香南市ものづくり会、企業訪問等で事業紹介を行い、設備投資支援を行う。		
		実績値	-	-	-	8件					
		達成(評価)(C)	-			C					
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・導入促進基本計画の策定(6/19) ・市税条例の一部改正(6/26) ※対象設備となる固定資産税率を3年間ゼロとする。 ・市ホームページへの掲載 ・商工会会員への事業紹介 ・企業訪問による事業紹介								
商業支援	◆既存企業の育成・支援										
	1. 香南市緊急融資保証料補給金事業【利用実績(金額)】  (H27) - (H28) 保証料を補給 (H29) 同上 (H30) 同上 7年満期分 20,000円 10年満期分 30,000円 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
		目標値	-	355,170円	355,170円	50,000円			次年度に向けた目標値に対する評価整理を実施。  ※次年度より現在の目標値である「金額」ではなく、セーフティネットとして活用された新規件数(既存利用数からの増加数)を目標数値とする。 また、金融機関等で周知を図り、利用促進を図る。		
		実績値	-	13,205円	19,308円	27,198円					
		達成(評価)(C)	-	C	C	C					
事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・4月1日付けで基本保証料率の改正による交付要綱の一部改正を実施 ・4月1日付けで高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結 ・5月 :第1回目の交付 :5件 4,582円 (内訳 : 7年… 2件 482円 10年… 3件 4,100円) ・10月 :第2回目の交付 :5件 11,560円 (内訳 : 7年… 2件 1,092円 10年… 3件 10,468円) ・2月 :第3回目の交付 :5件 11,056円 (内訳 : 7年… 2件 869円 10年… 3件 10,187円)										

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値							
商業支援	2. 魅力のある商業地・商店街づくり	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) 商工会との協議 (H28) 商工会との協議 (H29) バル実行委員会の設立 (H30) 香南バルの開催 (目標チケット販売数:500セット) ※ 1セット(5枚綴り) 3,500円 (R元)	目標値	商工会との協議	商工会との協議	バル実行委員会の設立	バルチケット500セットの販売			香南市内の参加店舗の拡充を図り、香南市の店舗を知っていただく取組を強化していく。
		実績値	3回実施	4回実施	設立	537セットの販売			
		達成(評価)(C)	A	A	A	A			
		事業内容(D)	<b>【H30年度の取組】</b> ・平成30年度香南バル実行委員会の開催 10回 (6/19,7/5,7/26,8/17,8/29,9/13,10/12,10/24,11/14,12/26) ・産業振興計画推進事業費補助金の交付決定 (6/28) ・産業振興計画推進事業費補助金の実績報告 (1/7) ・バル告知のため、SNSや情報誌、ポスター、チラシを作成。 ・メディアなどに取り上げていただき、市内外へのイベント発信を実施。 ・「香南カーニバル」開催(11/19-11/25)						
	3. のいち駅周辺商店アンケート調査	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) アンケート調査の実施 (R元)	目標値	-	-	-	調査の実施	-		アンケートの結果から、回答者の多くは現状の経営には満足していない傾向にあるが、どのような方法で取組めばよいか悩んでいる傾向にあったことから、事業者が必要とする「学べる機会」を提供する取組を実施。
		実績値	-	-	-	実施済	-		
		達成(評価)(C)	-	-	-	A			
		事業内容(D)	<b>【H30年度の取組】</b> ・当初、事業者の機運を高めることを目的に、各自商品等をテスト販売し、消費者から直接意見をいただく取組を検討していたが、事業者が持つ要望や不安等の把握が不足していたことから、まずは野市町の一部を対象にアンケート調査を実施し現況把握を行うことに取組を変更し実施。 ・12月～2月にかけて、のいち駅周辺店舗(107件)を訪問し、アンケート実施の告知、調査、回収を実施。(※ 回収率 57件 / 107件 53.3%)						
	4-1. 空き店舗等の活用 【補助金交付】(件数)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) 今後についての検討開始 (H28) 空き店舗対策事業費補助金開始 【参考】 市：補助率2/10 上限 400千円 ※県：補助率1/2 上限1,000千円 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	目標値	-	2件	2件	2件			香南市空き店舗対策事業費補助金の要綱を一部改正し、補助対象を香南市の「商店街の活性化」から「商業の活性化」へと拡充し、空き店舗の活用につなげる。また、HP等に情報発信を継続して実施。
		実績値	-	0件	0件	1件			
		達成(評価)(C)	-	C	C	C			
		事業内容(D)	<b>【H30年度の取組】</b> ・市内金融機関5件、市内不動産業者で空き店舗物件の取り扱いを行う4件を対象に事業説明訪問を実施。 ・商工会による事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会の開催(8/28、9/26、10/9、1/16) ・市HP、商工会HP等に加え、創業支援サイトであるこうち創業villageへの事業掲載。 ・空き店舗対策事業費補助金の申請実績(252千円：サービス業)						
	4-2. 空き店舗等の活用 【事業承継診断の実施】(件数)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 事業承継診断 (R元)	目標値	-	-	-	30件			H30年度に実施した28件の事業者への継続的な支援(専門家の紹介、支援機関との連携等)を実施するとともに、高知県が推進する「事業承継診断」の取組を進めていく。
		実績値	-	-	-	28件			
		達成(評価)(C)	-	-	-	B			
		事業内容(D)	<b>【H30年度の取組】</b> ・高知県事業承継ネットワーク事務局と商工会で連携を取り、60歳以上の経営者を対象に事業承継診断を実施。 ・事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会の開催(8/28、9/26、10/9、1/16) ・高知県が推進する「事業承継診断」の取組を進め、年間30件の目標値に対し28件の診断を実施。						

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
商業支援	4-3. 空き店舗等の活用 【商工会HPへの空き店舗物件の掲載】 (掲載件数)  (H27) 商工会HPへの空き店舗物件掲載数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	10件	10件	10件	10件			市内不動産業者へ協力要請を図り「空き店舗の情報」を取りまとめ、商工会HPIに加え、こうち創業villageや香南市のHPIにも空き店舗物件を掲載し、周知の拡大を実施。	
		実績値	2件	2件	2件	4件				
		達成(評価)(C)	C	C	C	C				
		事業内容(D)	【H29年度の取組】 ・商工会商業部会で「事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会」を設置 ・市と商工会ホームページへの掲載(相互リンク済) ・事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会の開催(7/6、9/20、11/20、1/22) ・チラシを作成し、金融機関や不動産会社へ配布  【H30年度の取組】 ・商工会HPにて「空き店舗マッチングサイト」開設 ・市内金融機関5件、市内不動産業者で空き店舗物件の取り扱いを行う4社に対し、事業説明訪問の実施 ・事業承継、空き店舗対策の調査研究にかかる委員会の開催(8/28、9/26、10/9、1/16) ・すてきなまち・赤岡プロジェクトと連携し、赤岡地区の空き店舗調査を実施(10/9) ・市と商工会HPで空き店舗物件の情報量強化 (1/18) ・外部サイト(こうち創業 village)への物件情報の掲載							
	5. 創業支援【ワンストップ窓口相談件数】  (H27) 創業支援計画の策定 (H28) 同上 (H29) ワンストップ窓口・創業に関する商工水産課と商工会への相談件数 23件 (H30) ワンストップ窓口・創業に関する商工水産課と商工会への相談件数 32件 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	策定準備	策定準備	23件	32件			引き続き、商工会や金融機関と連携し、創業支援を希望される方への相談窓口の対応強化を図る。 また、令和3年3月31日の創業支援事業計画の認定期間終了を前に、創業者が安心して香南市で起業するための相談体制を整え、創業後も長く事業を続けられるよう事業内容の見直しを実施していく。	
		実績値	-	策定準備	32件	32件				
		達成(評価)(C)	-	A	A	A				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・創業支援事業計画に則って、事業体制の強化を図るため、窓口サポートの質を統一する「共有フォーム」及び「手順書」を作成(9/15) ・ワンストップ窓口相談件数内訳: 香南市商工水産課 3件、香南市商工会 29件 ・特定創業支援事業証明書の発行: 2件 (※認定後初めての実績となった) ・新規創業者(H29年、H30年度創業者)への後追いサポートを実施。(13件中13件)  【参 考】H29、H30の創業者 13件 ※H29年度 : 小売業 1件、飲食業 2件、卸売業 1件、建設業 1件、サービス業 2件 ※H30年度 : 卸売業 1件、美容室 1件、理美容 1件、福祉 1件、託児所 1件、飲食業 1件							
	6. 創業支援利子補給金交付事業【利用件数】  (H27) - (H28) - (H29) 利用件数 (26,000円) (H30) 利用件数 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	-	3件	3件			市内金融機関9か所に本事業の周知を行い、利用増に繋げていく。  ※周知時期(2回を予定) ・金融機関の人事異動後の4月 ・事業申請直前の11月を予定	
		実績値	-	-	2件	3件				
		達成(評価)(C)	-	-	B	A				
		事業内容(D)	【H30年度の取組】 ・市内金融機関5件、市内不動産業者で空き店舗物件の取り扱いを行う4社に対し、事業説明訪問の実施 ・こうち創業villageへの事業掲載を実施。(1/18) ・H31.1月末の交付決定件数 3件 (※ 計 82,000円)							

平成30年度の実績

【観光分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
観光施設入込客数 (万人/暦年)	目標値	100以上	100以上	120以上	120以上	120以上	120万人以上 維持(年)		【根拠数値】 ・実績値は暦年(1月-12月) ・対象施設11か所 ①のいち動物公園・・・166,504 ②月見山こどもの森・・・25,647 ③ヤ・シィパーク・・・339,679 ④絵金蔵・・・・・・10,265 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・2,321 ⑥天然色市場・・・・・・8,139 (H30.1～3) ⑦やすらぎ市・・・・・・209,067 ⑧あぐりのさと・・・・・・20,998 ⑨黒潮温泉・・・・・・100,418 ⑩アクトランド・・・・・・109,436 ⑪土佐カントリークラブ・・・69,704
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2				
	達成 (評価)	A	A	B	B				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の実績について】

実績値については、7月の豪雨災害により7.8月と多くの施設で減となったが、10月以降復調傾向になり、盛り返すことができた。  
しかし、天然色市場がH30.4月から休業状態になっていることもあり、昨年実績を下回る結果となった。(参考: H29.1～12月実績40,200人)  
リョーマの休日～自然&体験キャンペーン(ポスト幕末維新博)に合わせ、ヤ・シィパークを魅力ある施設へと磨き上げるためのグランドデザインの策定やロケーションを活かしたグランピングができる大型ベルテントの設置等を実施した。  
H30年度の実績をとおり、物部川DMO協議会や観光協会と連携し、旅行会社へのセールス実施やサイクリングを活用したイベントの開催等を実施した。  
今後の課題としては、インバウンドの受入体制づくりとして外国人観光客がどれぐらい市内を訪れているのかを把握するために、市内観光施設に協力を依頼し、外国人観光客入込数の把握ができる体制を構築する必要がある。

【R元年度の実績について】

グランドデザインを基にヤ・シィパーク周辺の活性化に向けた取組を行い、整備したグランピングとマリンアクティビティ等を活かしたヤ・シィパークならではの過ごし方をPRし、誘客を図る。  
さらにヤ・シィパークを核としたクラスター形成に向けた企画立案・事業実施を進める。  
広域観光事業としては、旅行業を取得予定である(一社)物部川DMO協議会と連携し、3市の観光素材を活かすとともに宿泊を絡めた旅行商品等の造成を行い、誘客促進と滞在時間の延長を図る。また、サイクリングを核としたイベントの開催や地域の観光素材を活用した体験モニターの開催等、交流人口の拡大を図る。  
インバウンド事業として、多言語観光パンフレットの作成や受入研修を行い、インバウンド受入環境の整備を推進する。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値								
	○具体的な取組(P)	実績値							A/B/C	
核となる観光拠点の形成	◆企業誘致の促進									
	1. 三宝山エリア観光拠点化事業 【新たな拠点数】  [三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業] (H25)～(H28)  [三宝山観光拠点化基本計画の策定] (H29)～ (H30) 基本計画の精査・調整を踏まえた 実施計画の策定 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所		山頂については、運営事業候補者のうちの1者が、一体的な開発を検討している。 基本構想や基本計画などで議論してきたコンセプトやターゲット等は今後も活かしながら、運営事業候補者が三宝山エリア全体での観光拠点化に向けた取り組みに参画していただけるように、事業者間の調整を行う。 また、香南市に加え、物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくりを高知県と連携しながら関わっていく。	
		実績値	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所				
		達成(評価) (C)	—	—	—	—				
		事業内容 (D)	◇[三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業] 【H25年度の取組】・・・夢のアイデア募集 【H26年度の取組】・・・三宝山基本構想の検討 【H27年度の取組】・・・基本構想の磨き上げる会 【H28年度の取組】・・・三宝山観光拠点化基本計画の策定にむけた取組を実施  ◇[三宝山観光拠点化基本計画の策定] 【H29年度の取組】・・・土地・建物所有者との無償賃借契約の締結 ・・・運営事業候補者の公募、基本計画検討委員会の開催 【H30年度の取組】・・・ ・基本計画の内容、課題及び要件等について精査・調整(4～7月) ・運営事業候補者と関係者間((株)ものべみらい、県、市)との協議(4～7月) ・香南市三宝山周辺エリア広域観光ビジョン検討委員会の開催(7/23) →基本計画の整備計画の見直しを行い、三宝山の頂上だけでなく、中腹やふもとにある観光施設との連携や風力発電地跡等の活用など、三宝山エリア全体での観光拠点化を目指すことを確認。 ・土地・建物所有者との無償賃借契約を解約(9/7)							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
核となる観光拠点の形成	2. ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 【リョーマの休日～自然&体験キャンペーン に向けた準備等】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27)～ (H28)～ (H29)～ (H30) 自然体験型キャンペーンに向けた整備 【グランドデザインの策定等】 (R元)	目標値	-	-	-	策定	ヤ・シィ入込 客数 36.6万人		H31.3月に策定された「グランドデザイン」を 基に、速やかに対応を行い、ヤ・シィパーク 周辺地域の活性化に向けて取り組む。 また、ヤ・シィパークのロケーションを活かし た体験メニューの提供していく。
		実績値	-	-	-	策定済			
		達成(評価) (C)	-	-	-	A			
		事業内容 (D)	<b>【H30年度の取組】</b> ・自然体験型キャンペーンに向けた整備…グランドデザインの策定 ・体験プログラムの備品整備 (ビーチ&キャンプイベント整備) ・イベントの開催 ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会を開催 (毎月1回開催) ・H31. 2月よりスタートした「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」の取組として、 高知県観光拠点等整備事業費補助金 ①体験プログラム(サップを使用したマリンスポーツ体験)の備品整備…SUP10艇購入(1/30) ②ヤ・シィパークグランドデザインの策定…11/8委託業務契約 ⇒H31.3月末策定予定 ③体験プログラム(ビーチパーク&キャンプイベント)の備品整備…テント3基購入(11/16)、 ウッドデッキ2基購入(11/29) ④イベントの開催…グランピング体験(12/1開催 9家族30人の参加、3/9～10 開催 13家族46人)						
	3. manamanaの取組について 【売上高】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27) 着手 (H28) 開店 (H28.7.23 ～ H29.3) (H29) 売上高の向上に向けた取組 (H30) 同上 (R元)	目標値	-	47,934 千円	51,022 千円	52,578 千円	54,193 千円		・繁忙期に備えたアイスパバーの在庫確保 (目標ストック25,000本) ・ランチメニューの拡充と新商品の開発。 ・原材料殺菌処理方法の確立 ・アイスパバーの包装フィルムの改良 ・販促用リーフレットの作成 ・HPリニューアル予定(3月上旬) ・店頭販売、加工、外販に必要な人材 の確保 ・店頭売上の強化と外販部門の促進 ・HPを活用した広報の充実
		実績値	-	10,628 千円	16,356 千円	26,868 千円			
		達成(評価) (C)	-	C	C	C			
		事業内容 (D)	<b>【H29年度の取組】</b> ①雇用状況…店舗スタッフの雇用7名(店長1名、パート3名、アルバイト3名)※3月末現在 ②商品開発 ・アイスパバーの一部価格改定(7/1～) ・アイス(カフェメニュー)、ランチメニューの開発 ・モーニングサービスの開始及びランチメニューの拡充(3/1～) ③外販(販路開拓) (1)店舗…アンテナショップ『まるごと高知』他4ヶ所に納品 (2)カタログ…百貨店「井筒屋」カタログ他5件に掲載、香南市ふるさと応援寄付金カタログへの掲載 (3)インターネット販売…オンラインショップ販売代理店あすらば サイトリニューアルH29/7/21) ⇒ストップ。(H30年2月) (4)その他 ・香南市農業複合経営拠点(6次産業化)事業関連で、ミカンピューレを試作し、60kgを納品 (5)商談…「高知空港ビル(株)」他3件と商談中。「平成29年度高知県産品商談会(5/30)」他4件に参加 (6)イベントへの出店・出品…マリンフェスティバルYASU(7/16)他8件で販売及び試食を実施 ④広報 (1)各種情報誌…『女性自身』他8件で掲載 (2)メディア…NHK「鶴瓶の家族に乾杯」(5/15、5/19再放送)他1件で放送 …高知県産業振興計画シンポジウム会場にてパネル、ギフトBOX等展示(5/16、5/30、6/8) …facebookによる情報発信(21回) ⑤講習・セミナー・研修・会議等…HACCP研修の受講(5/18～19 店長1名) …商品力アップ相談会、栄養成分表示研修への参加 …テナント会への出席(9回) ⑥その他…アイスパバー増産に伴う屋外冷凍庫の設置(6/末)、龍馬パスポートへの参加(H29.4月～) …やすらぎ市や土産物店等へのチラシ貼付  <b>【H30年度の取組】</b> ・5/2より(株)ものべみらいからの役員派遣による戦略の立て直しを実施。 ①商品開発及びアイスパバー生産体制の確立 ・ランチメニューのリニューアル(4/5) ・リニューアルオープンによりメニューの充実(7/21) ・メニュー追加(随時) ・地域おこし協力隊による生産工程考案 ※3/20現在の在庫(約30,000本) ②新規販路開拓及び外販の強化 ・新店舗への納品(4社) ・カタログ販売のお中元ギフト採用(2社) ・ふるさと納税返礼品の充実 ・商談会への参加(5/29、11/27) ・高知県食品産業総合支援事業費補助金の活用(パンフレット、包装フィルムの作成) ③広報の充実…各種情報誌への掲載、新聞、メディアによる放送 ④各種イベントへの出店、自主事業の企画 ・GWIに山田高校とコラボしたニラマヒバーガー販売 ・県内を中心に観光協会と連携し、イベントへの出店 ※出店及び出品回数:23回						



戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							
	○具体的な取組(P)	実績値						A/B/C	
核となる観光拠点の形成	◆観光の振興								
	1. 歴史を中心とした博覧会 【幕末維新博対象施設入込数】 (絵金蔵12,000人 /アクトランド130,000人) (H27) 入館者数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 目標値変更 115,500人 (絵金蔵10,500人 /アクトランド105,000人)	年度	H27	H28	H29	H30	H31	年度達成	【今後の取組】
		目標値	142,000人	142,000人	142,000人	142,000人	115,500人		「志国高知 幕末維新博」はH31年1月末で閉幕となり、入館者数の減少が予想されるため、継続した企画展の開催やイベントと連動した夜間開館などを実施する。
		実績値	4,489人	5,270人	96,770人	110,646人			また、トリップアドバイザー等を活用し、外国人観光客への情報発信を行い、誘客促進を図るとともに、高速SA等の有料広告を活用し、情報発信を行う。
		達成(評価) (C)	C	C	B	B			
		事業内容 (D)	<b>【H29年度の取組】</b> ・維新博補助金を活用し、絵金蔵映像システム構築業務契約 ・市営バスの新路線開拓による観光客の周遊促進(10/1)  <b>【H30年度の取組】</b> ・県市協働のもと地域会場メインのPDCAシートを作成し、通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施。 ・周辺施設と連携した誘客策を実施。 ・HPやSNS等を活用するとともに、推進協議会が発行する「かわら版」等とも連携した情報発信。 ・絵金蔵では、普段見ることができない芝居絵屏風の公開修理など、特別感のある企画のPRや、冬の夏祭りイベントとの連携を強化して入館者増を図ったが、7月豪雨の影響もあり目標達成ができていない。 ・アクトランドでは、県外のSA等でのパンフレット配架に継続して取り組み、認知度の向上を図る。						
	2. 観光施設間の連携 【香南市観光施設連絡会の回数】 (H27) 開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 香南市観光施設連絡会の開催 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	-	-	-	4回	4回		R元年度以降も、各施設の情報共有を図るとともに、ヤ・シィパークを中心とした観光クラスター形成に向けて観光関連事業者の連携した企画等の開催に向けて協議を実施。
		実績値	7回	9回	4回	3回			
		達成(評価) (C)	-	-	-	B			
		事業内容 (D)	<b>【H29年度の取組】</b> ・歴史のリアル化、クラスター化について協議 ・観光客向けの周遊アンケートを作成し、観光客の実態、需要を把握する仕組みを確立 ・連絡会の中で、観光施設の視察、見学を行うことで、施設間の情報共有を実施 ・新たなサイクリングコースを検討、試走し、パンフレットを発行。 <b>【H30年度の取組】</b> ・市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進を図り、自然・体験キャンペーンにあわせた観光クラスター形成を図る。 ・インバウンドモデルコースの協議 ・SNSを活用したフォトコンテスト開催に向けた検討 ・観光施設連絡会の開催(11/27) ・連絡会の中で、観光施設の視察、見学を行うことで、施設間の情報共有を行う。						
	3. 歌舞伎でまちおこし 【イベント参加者数(延べ)】 (H27) 各催し物等の開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	-	4,060人	4,320人	2,150人	1,200人		市主催の婚活事業と連携するなど、新たな角度の取組を行っていることから、今後も他事業との連携を検討していく。
		実績値	-	5,304人	4,781人	1,709人			また、赤岡小学校4年生を対象とした(1/27)ワークショップ等を開催し歌舞伎に触れてもらう機会を創出し、歌舞伎でまちおこしの知名度向上を図ったことから、R元年度も「土佐絵金歌舞伎伝承会」や「弁天座運営委員会」と連携し、歌舞伎公演を引き続き行っていくとともに、H30年度に実施した「歌舞伎」×「婚活」のような新たな分野との連携を図るため、実行委員会内で検討する。
		達成(評価) (C)	-	A	A	B			また、着付け体験などの体験メニュー化に向けた協議を行っていく。
		事業内容 (D)	<b>【H27年度の取組】</b> ・・・市川海老蔵公演、小中学生を対象とした出前講座、市民による歌舞伎ワークショップ <b>【H28年度の取組】</b> ・・・土佐絵金歌舞伎公演、伝統芸能を中心とした講演会の開催、市民による歌舞伎を活用したコミュニティ事業 <b>【H29年度の取組】</b> ・・・土佐絵金歌舞伎公演・伝統芸能を中心とした講演会の開催、市民による歌舞伎を活用したコミュニティ事業 <b>【H30年度の取組】</b> ・・・土佐絵金歌舞伎定期公演(7/21・22 800人)、「九圍次の会」の開催(6/15 139人) 上方落語会(7/7 49人)、香南市婚活セミナー(10/28 12人) 赤岡小学校WS(1/31 35人)						

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値							
核となる観光拠点の形成	4. 塩の道を活用した取組 【参加者数】  (H27) - (H28) 土佐塩の道の整備、保全を行い、歴史遺産または、文化遺産として次世代に承継するとともに、交流人口の拡大や地域活性化を図る。 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	-	-	-	500人	650人		・H30年度の取組に加え、OTA (Online Travel Agent)登録を検討し、少人数向けガイドワークをPRする。
		実績値	-	323人	480人	595人			
		達成(評価) (C)	-			A			
	事業内容 (D)	【H28年度の取組】 ・トレイルランニング(10/2:205人) ・30kmウォーク(3/26:65人) ・他ガイド育成の取組等:53人 【H29年度の取組】 ・トレイルランニング(10/1:544人) ・30kmウォーク(3/24:99人) ・他ガイド育成の取組等 【H30年度の取組】 ・全体総会、香南支部総会の開催(6/23) ・役員会の開催:全体役員会(4/24,5/24,8/16,9/6,9/25) ・香南支部役員会:(5/7,8/29) ・トレラン打合せ会:(4/17,5/9,6/28,10/1,10/3) ・第7回塩の道トレイルランニングレース2018(10/7 291人) ・30kmウォーク(3/23 104人) ・ガイド等 200人							
	5. サイクリング事業 【レンタサイクル貸出人数】(3か所) 1.サイクリングターミナル 2.のいち駅 3.アクトランドの合計  ※サイクリングに特化した取組は別ページに記載  (H27) - (H28) レンタサイクル利用者増に繋げる取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	-	1,000人	1,800人	2,100人	2,300人		詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載。
		実績値	-	1,714人	2,060人	2,156人			
		達成(評価) (C)	-	A	A	A			
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・各取組の詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載。							
	6. 物部川エリア広域観光連携事業 【対象施設の入込客数】(9箇所) 1.県立のいち動物公園 2.創造広場「アクトランド」 3.絵金蔵 4.西島園芸団地(南国市) 5.県立歴史民俗博物館(南国市) 6.香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム(香美市) 7.龍河洞(香美市) 8.べふ峡温泉(香美市) 9.ザ・シックスダイアリーかほく ホテルアンドリゾート(香美市)  (H27) 施設入込客数増に繋げる取組 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	-	-	665,200人	711,000人	739,500人		H29年度に全国初の「ウェルカムファミリー」の観光地・ものべがわエリアに認定されており、このエリア認定を活用した事業を引き続き展開し、子育てファミリーにやさしいエリアとしての認知度向上と誘客促進を図る。 また、3市の広域観光組織として、3市が持つ歴史、自然、体験、食などを活かした広域観光クラスターの形成に取り組む。 さらに、旅行業第3種を取得し、ワンストップ窓口、商品造成等により、誘客促進や観光消費額の増加等を図っていく。
		実績値	-	633,544人	745,319人	707,185人			
		達成(評価) (C)	-	-	A	B			
	事業内容 (D)	【H27年度の取組】・・・DMO設立にむけた取組 【H28年度の取組】・・・DMO設立(6/30) ・物部川フェスタの開催 ・(株)ものべみらい発足 【H29年度の取組】・・・フォトコンテスト開、ミキハウス子育て総研による「ウェルカムファミリーの観光地」認定(全国初) 物部川流域観光パンフレット作製 ・各研修、フォーラムの参加や商談会への出店など実施。  【H30年度の取組】 ・物部川DMO協議会総会(6/20開催) ・理事会(11/29、12/26、2/12開催) ・推進会議(4/18、5/25、12/29開催) ・観光客動態調査によるデータ分析 ・ことりっぷ作成やHP構築等によるターゲットに向けた情報発信(2万部作成し、10月から配布開始) ・旅行会社へのセールス活動等を通じた旅行商品の造成 (セールス活動:6月広島・岡山、9月香港、10月大阪・名古屋、1月大阪・東京、2月台湾) ・高知大学と連携したツアーコース開発とモニターツアーの実施 (6/17 モニターツアー開催。四国ワープ高松支店で旅行商品化) ・ミキハウスエリア認定の継続 ・エリア認定を主体とした企画・イベントの開催 (認定施設を中心としたデジタルスタンプラリーをGWと6月に開催 累計56名参加) ・インバウンド向けPR動画や施設紹介サイトを作成(10月中旬公開) ・インバウンド(台湾向け)パンフレット(繁体字)HP繁体字ページの開設、台湾レップを受け入れての検証(12月開始、継続中) ・物部川流域におけるバリアフリー観光の実態調査および先進地視察 (6月鳥羽バリアフリーセンター視察研修、4月-9月高知県おもてなし課と合同にて現地調査、継続中) ・DMO事業視察研修、受入 (5月山形県議会、8月福島市観光コンベンション協会、10月岩手県県南振興局、3月福島市観光コンベンション協会職員) ・DMO事業物部川エリアの観光について講演、講師派遣(3月岩手県県南振興局へ派遣) ・10/14 ものべがわフェスタ(集客5,000人) ・11/8,9,10 長野県に視察研修 ・広報担当者会の開催 ・その他、観光PR活動(随時)							

戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組 (P)	実績値									
核となる 観光 拠点の 形成	7. 市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 【カタログ売上額】 (カタログ販売額+ふるさと納税額)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) ー (H28) 売上高増の取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	目標値	－	3,200 千円	20,000 千円	104,000 千円	104,200 千円		返礼品を送付する際にギフトカタログを同封する等のPRを行い、県内外に香南市の地域資源を発信し売上に繋げている。 また、県内外のイベント等に参加し、お客様に直接説明や試食をしてもらうことで、香南市ファンが1人でも多く増えるよう取り組んでいく。 カタログ販売については、事業者と連携した新たな登録品の開発や期間限定コラボセット開発などに取り組み、より魅力的な商品が提供できるようにすることで、売上増を図っていく。		
		実績値	－	2,861 千円	71,520 千円	119,753 千円					
		達成(評価) (C)	－	B	A	A					
		事業内容 (D)	【H28年度の取組】・・・(カタログのみ): 既存の取組及びふるさと納税機能整理 【H29年度の取組】・・・(カタログ3,077+ふるさと68,611) ・カタログ発行(1万部) ・カタログ配布(1万部) ・サマーフェアチラシ発行(5,000部) ・こうなん健康チャレンジポイントの活用 ・各イベント等の出店強化等。 【H30年度の取組】・・・(カタログ4,160千円 +ふるさと 115,593千円) ・通年カタログの発行(15,000千部) 登録業者数45社、登録品目数 211品 ・サマーフェアチラシ発行 (平成30年6月 5,000部発行) ・にらプロ活動 ・こうなん健康チャレンジポイントを継続活用(4/1～12/31の実績 463枚) ・イベントへの出店や広報活動 維新博第2幕オープニングイベント等他17件へ出店。 ・11/11 横浜にてふるさと納税イベント参加								
核となる 観光 拠点の 形成	8. 地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業 【対象観光施設入込数】(7施設) 1.県立のいち動物公園 2.創造広場「アクトランド」 3.高知県立月見山こどもの森 4.絵金蔵 5.弁天座 6.ヤ・シィパーク 7.香南市サイクリングターミナル (宿泊数は除く)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) 対象観光施設入込数増の取組 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	目標値	－	700,000人	700,000人	700,000人	700,000人		HPやSNSでの情報発信、高知県内の主要観光施設にチラシ配布する等、情報発信の強化に取組む。 また、これまでと同じ内容の体験モニターツアーを実施するのではなく、これまで活用できていない地域の素材を使った体験モニターツアーを開催し、新たな魅力の発信を行い、集客数の拡大を図る。		
		実績値	－	605,000人	620,000人	647,623人					
		達成(評価) (C)	－	B	B	B					
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・「海から山から香南市を満喫！ポタリング」(5/12 参加 9名) ・「あじさい街道満喫＆ワークショップ」最少催行人数に達さず中止 ・第7回土佐塩の道トレイルランニングレースブリーフィング(10/6 参加数58名) ・第7回土佐塩の道トレイルランニングレース(10/7 参加数249名) ・「カッティングボード作り体験モニター」(10/16 参加数8名) ・「山里羽尾の楽しい暮らし体験モニター」(11/7 最少催行人数に達さず中止、12/21 13名) ・「山北満喫体験モニター」(11/18 最少催行人数に達さず中止) ・「サンセットシーカヤック」(11/24 7名、12/1 7名、12/15 12名) ・「赤岡着物美人」(最少催行人数に達さず中止) ・「土佐塩の道30Kmうおう」(3/23) ・「土佐の観光創生塾」参加(6/14、6/20、7/5、7/18、9/19、9/26、11/6) ・志国高知 幕末維新博 第二幕開幕関連イベント商談会参加(城西館) (4/18) ・高知県観光説明会(名古屋東急ホテル)商談会参加(5/29) ・高知県観光説明会(東京)商談会参加(1/31)								
人材の 育成	◆おもてなしの向上										
	1. まちの案内人会 【案内人会 会員数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】		
	(H27) 会員数増加に繋げる取組を実施 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	目標値	10人	10人	19人	26人	26人		会員増に向けた勧誘に取り組み組織体制の強化を図っていくとともに、案内ができるガイド人育成のために勉強会や研修会を開催する。また、実践の場を確保するためにも、観光協会等との連携を強化し、モニターツアー等に組み込んでもらうよう取り組む。		
		実績値	10人	10人	22人	23人					
		達成(評価) (C)	A	A	A	B					
		事業内容 (D)	【H27年度の取組】・・・香南市内の各イベント等に参加し、参加者へ観光資源の説明などを実施。 【H28年度の取組】・・・まちの案内人会 会員数の増加を図る。 【H29年度の取組】・・・まちの案内人会 会員数の増加を図る。 ・県観光ガイド連絡協議会に加盟 ・ガイドスキル向上と統一化を図るためのマニュアルを作成 【H30年度の取組】・・・まちの案内人会 会員数の増加を図る。 ・1人新規加入 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPの香南市案内人会ページで活動状況を発信 ・芸西地区のガイド団体と交流会を実施(5/16) ・研修会等への参加によるスキルアップを実施。 ・計214人(13回)を受入、市の歴史や魅力を伝えることができた。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり								
	1.外国人観光客の受入態勢づくり 【研修会実施回数】  (H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 外国人観光客受入研修を実施し、受入体制強化に向けた課題の洗い出しを実施。 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
		目標値	－	－	－	5回	2回		多言語観光パンフレットを作成し、新たにれんけいこうち事業として開設される「観光案内所」での多言語パンフレット配布等、県内施設での情報発信を行う。
		実績値	－	－	－	3回			インバウンド向けのモデルコース策定を行い、高知新港出店時やのいち駅などの玄関口で配布し、市内への誘客や周遊を図る。
		達成(評価) (C)	－	－	－	B			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・高知新港への出店(6/18中止 8/16 11/20) ・外国人観光客受入研修の実施(全体研修:8/30 12施設18名参加 個別研修:9施設) ・絵金蔵外国人観光客団体受入(4/25 72名 ・ 10/8 99名)						



平成30年度の取組実績

【サイクリング分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備 考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000人	1,800人	2,100人	2,300人	2,300人 (年)		<b>【根拠数値】</b> ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714人	2,060人	2,156人				
	達成 (評価)	-	A	A	A				

■取り組みの評価(総評)

【H30年度の取組について】

イベントや広報などで周知を行い、サイクリングに興味を持ってもらえる取り組みの推進を行った。  
また、R元年度に向けて県内外のサイクリストが集まる「独自のレース」を開催することを検討し、関係機関と協議、準備を実施。  
タンDEM自転車の公道解禁を機に、新たな自転車活用の場面が増えてきていることから、周知方法やPRに注力し、利用者増加の対策を実施。

【R元年度の取組について】

レンタサイクル利用者の目標達成が見込まれることから、新たに目標値を設定し達成を目指す。  
既存のイベントを定着させつつ、他県ではあまり行われていない「アドベンチャーライド」等に焦点をあて協議を進める。  
また、タンDEM自転車の活用機会・活用場所を増やせるよう、周知を行い講習会等を開催するとともに、サイクリスト誘致のためのPR活動、環境整備を推進する。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値								
自転車を活用した観光への取組	◆サイクリング事業									
	1. 各種イベントの開催 【イベント参加者数】  (H27) - (H28) - (H29) - <b>(H30) イベント参加者数</b> (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	-	-	500人	500人		既存イベントを引き続き開催し、地域への定着と参加者の定着増加を目指す。	
		実績値	-	-	-	459人			また、他県ではあまり行われていない「アドベンチャーライド」に焦点をあて、大会を開催するために取組を進め、参加者増に繋げていく。	
		達成(評価) (C)	-	-	-	B				
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・MAXライダー(スポーツMAX主催) 4/22: 85人参加 ・海から山からボタリング(観光協会主催) 5/12: 9人参加 ・中四国ブロックサイクリング大会(高知サイクリング協会主催) 9/23・24: 計 218人参加 (23日:113人/24日:105人) ・シクログ大会(スポッポ)として参加 10/7 ・ツール・ド・香南トレイン(観光協会主催) 11/17 ⇒ 12/15へ延期: 11人 ・ボタリング(MAZE-CLE 主催) 11/25: 17人 ・シクログ大会(シクログ実行委員会主催) 31/1/20: 119人								
	2. サイクリングに対するPR 【推進団体の設立件数】  (H27) - (H28) - (H29) - <b>(H30) 香南市内にサイクリングを推進する団体</b> <b>の設立を目指し、PR活動を行う。</b> (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	-	-	1件	-		サイクリングの取組についてMaze-Cleと連携を図り、サイクリスト向けのサイクリングコースを設定し、ポケットサイズのパンフレットを作成することで、魅力発信を図る。	
		実績値	-	-	-	1件			また、作成したジャージや自転車を活用し、大会へ参加し、推進強化を図る。	
		達成(評価) (C)	-			A			広域的な推進につなげるために、他市町村や他団体と連携した事業について検討する。	
事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・鈴鹿simanoロードレース大会に「高知県」としてブース出店し、ツール・ド・こうなん等、パンフレット500冊以上を配布(8/18・19) ・ものべがわフェスタにてタンDEM自転車、キックバイクの体験会を実施(10/14) →タンDEM自転車 69人 / キックバイク 135人 ・香南市PR用サイクルジャージの作成(8着) ・香南市PR用自転車の購入(1台) ・香南市のサイクリングを推進する団体の設立(MAZE-CLE設立) ・香南市サイクリングPR動画の作成(VR) ・サイクルモードライド大阪に「高知県」としてブース出店予定(3/2・3) ・香南市の広報誌で自転車の推進、PRを掲載。 ・地域おこし協力隊全員で運営しているSNSで、自転車イベントや情報を発信 ・「自転車を活用したまちづくりを推進する市区町村長の会」に加入。 ・市広報誌11月号より、自転車推進ページの掲載を実施し、周知の強化を図っている。									
自転車を活用した観光への取組	3. レンタサイクルの利用者推進 【レンタサイクル利用数】  (H27) レンタサイクル利用者数 (H28) 同上 (H29) 同上 <b>(H30) 同上</b> (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	1,000人	1,800人	2,100人	2,300人		新たにタンDEM自転車2台を購入予定。小型のものを購入し、大人から子どもまで体験できる整備を実施。	
		実績値	-	1,714人	2,060人	2,156人			また、レンタサイクルが利用されにくい月の原因調査と底上げのための協議を行う。	
		達成(評価) (C)	-	A	A	A			サイクリングターミナルで無料レンタルを行い、PRを行う。	
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・サイクリングターミナル内の自転車更新 クロスバイク 3台、ロードバイク 1台、タンDEM自転車 2台、子供用クロスバイク 5台 ヘルメット 17個 (大人15、子供 2)								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成割合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
自転車を活用した観光への取組	4. サイクルオアシスの充実 【新規設置数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27)－ (H28)－ (H29) 新規サイクルオアシスの設置 (H30) 同上 (R元)	目標値	－	－	－	5件	5件		観光施設だけではなく、飲食店などにも設置できると、サイクリストも足を止めやすくなるため、サイクルオアシスの充実を図る。 また、サイクルオアシスの内容について、広報誌の自転車ページへ掲載するなどの周知を図る。
		実績値	－	－	2件	3件			
		達成(評価) (C)	－	－	－	B			
		事業内容 (D)	【H29年度の取組】 創造広場「アクトランド」、ヤ・シィパーク 【H30年度の取組】 香南市サイクリングターミナル、羽尾大釜社、絵金蔵の3件設置。						
障がいのある方や高齢者へのスポーツ推進	◆サイクリング事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	1. タンデム自転車の利用強化 【利用件数】	目標値	－	－	－	50件	50件		H30年度に引き続き、講習会を開き、パイロットの育成を行う。また、既存のサイクリングイベントに付随し、タンデム自転車を紹介し、体験してもらいで周知を進める。 さらに、新規の取組としてタンデム自転車を活用できそうな課や施設へ情報発信を行い、利用してもらえるようPRを行う。
	(H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 利用件数 (R元)	実績値	－	－	－	51件			
		達成(評価) (C)	－	－	－	A			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・タンデム自転車の公道解禁に向けた警察との協議 ・9/1よりタンデム自転車の一般公道走行が解禁。同日に高知県警察本部と連携し、タンデム自転車の試走会をサイクリングターミナルで実施。高知新聞、KUTV等が取材を実施。 また、後日になるが、RKC、さんさんテレビ、高知ケーブルテレビ等各メディアが取材をし放映。 ・中四国ブロックサイクリング大会において、タンデム自転車での参加者（1組） ・タンデム自転車のレンタル実績(9/1～12/31) 46件 ・タンデム自転車講習会の開催（2/3） 東部自動車学校をお借りし、パイロット養成のための講習会を開催。 教室で道路交通法上の位置づけや走行方法、視覚障害の特性について講習し、自動車学校内を試走、その後実際に公道を走行。パイロット 13人、コパイロット 6人						
健康増進と環境に配慮した取組	◆サイクリング事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	1. 健康ポイントを活用した取組 【開催回数】	目標値	－	－	－	3回	4回		アンケート結果では、回数を増やして欲しい、距離を伸ばして欲しい等の積極的な意見が多かったことから、回数を増やし健康増進に向けたイベントを実施していく。
	(H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 健康サイクリング開催 (R元)	実績値	－	－	－	3回			
		達成(評価) (C)	－	－	－	A			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・香南市健康サイクリングの開催(5/27、6/24、8/5) 3回実施 第1回 10kmコース 9人参加 第2回 12kmコース 7人参加 第3回 16kmコース 9人参加 延べ 25人参加						
健康増進と環境に配慮した取組	2. CO2の排出抑制 【地球温暖化対策実行計画内における目標数値の明確化】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	(H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 市のCo2削減目標値の計画 (担当課主導)に取組を盛り込み推進していく。 (R元)	目標値	－	－	－	目標数値の明確化	目標数値の明確化		環境対策課が策定している地球温暖化対策実行計画の中にあるエコ通勤キャンペーン（仮：R2年度実施予定）へ向け、担当課と連携し協議及び整理を進め、削減目標値を設定する。
		実績値	－	－	－	－			
		達成(評価) (C)	－	－	－	C			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・環境対策課と協議を行ったが、数値の算出方法や取組への準備等について、十分に詰めることができなかった。 ・R2年度からエコ通勤キャンペーン(仮称)に取り組むように話し合いを行った。						
自転車の安全利用を推進する取組	◆サイクリング事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	1. 交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備え 【レンタサイクル貸出し時のヘルメット貸出率】	目標値	－	－	－	100%	100%		ヘルメット着用率の把握を行い、着用率を向上させる目標値を設定する。 また、事故発生箇所や危険箇所を把握し、安全教室等を実施し、交通事故に対する啓発に繋げる。 さらに、サイクリングターミナルのレンタサイクル料金の見直しを検討する。 加えて、ヘルメット着用率について、ヘルメットを持参し、着用される方もいるので、レンタル数の把握だけでなく、より良い方法を考える。
	(H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) レンタサイクル貸出し時のヘルメット着用率を目標値として設定する。 (R元)	実績値	－	－	－	69.33%			
		達成(評価) (C)	－	－	－	B			
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 ・レンタサイクル貸出し時の注意喚起の取組強化 ・サイクリングターミナルでの貸出し時に保険の紹介等、注意喚起用のラミネートを作成し、貸出し前に説明を実施している。 ・「自転車安全利用五則」の推進を市広報誌・HP等で推進。 ※ヘルメット着用率について、11月から計測開始。 11月～3月までの自転車レンタル数786件に対し、ヘルメットレンタル数545件。						

平成30年度の実績

【住宅分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成割合)	備 考
—	目標値	—	—	—	—	—	—		—
	実績値	—	—	—	—	—			

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成割合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組 (P)	実績値								
住環境の整備	◆住環境の整備									
	1. 住宅リフォーム制度【利用件数】 ・香南市住宅リフォーム補助金 ※市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20% (上限20万円) を補助。  (H27) - (H28) 補助金交付件数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	50件	75件	75件	75件			リフォーム補助金の需要は多く、また、上限20万円を利用していない方より「再度利用できないか」との声も多くあったことから、補助金交付要綱の一部を見直し、上限額に至っていない方は再度当補助金を利用できるように拡充。
		実績値	-	67件	89件	100件				
		達成(評価) (C)	-	A	A	A				
事業内容 (D)	【H28年度の取組】・・・ 交付金額 9,789千円/10,000千円 【H29年度の取組】・・・ 交付金額 14,092千円/15,000千円 【H30年度の取組】・・・ 交付金額 14,562千円/15,000千円									
市営住宅の整備	◆市営住宅の整備									
	1. 浄化槽等設置工事【工事件数】 ※生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する。  (H27) 設置件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	32件	30件	30件	22件			過去の結果をふまえると目標数値をクリアすることは難しいが、施工箇所を増加させ、住民の安心安全を確保し、目標値に近づける。
		実績値	-	22件	14件	14件				
		達成(評価) (C)	-	B	C	C				
事業内容 (D)	【H29年度の取組】・・・浄化槽 12件、屋根外壁 2件 国庫補助金の一部不採択があり、目標数値を下回った。  【H30年度の取組】 要望した国庫補助金の決定額要望額が流動的で有り、近年目標値の工事に入ることが出来ない。 また、工事を行う対象先に住まれている方の都合もあり、予定工事が実施できない事例も発生し、目標数字に近づけれない。									
住宅の耐震化	◆住宅の耐震化									
	1. 住宅耐震診断事業【利用件数】 ・香南市木造(非木造)住宅耐震診断費補助金 ※木造住宅・・・診断費用の自己負担3千円 非木造住宅・・・3万円補助  (H27) - (H28) 利用件数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	100件	120件	120件	120件	120件			市広報・HPへの掲載、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、チラシ配布、ふれあい祭りでブース展示を予定。 R元年度も前年度と同じく120件を目標とする。
		実績値	113件	127件	94件	83件				
		達成(評価) (C)	A	A	B	B				
事業内容 (D)	【H30年度の取組】 H28年度の熊本地震の影響等もあり近年お問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。									
住宅の耐震化	2. 住宅耐震改修費補助事業 【改修設計、改修工事の件数】 ・香南市住宅耐震改修費等補助金 ※香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。(設計1棟あたり上限305千円、改修1棟あたり上限1,000千円)  (H27) 改修設計及び改修件数 (H28) 同上 (個別目標値を設定) (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】	
		目標値	-	・設計 90件 ・工事 90件	・設計 90件 ・工事 90件	・設計 90件 ・工事 90件	・設計 90件 ・工事 90件			市広報・HPへの掲載、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、チラシ配布、ふれあい祭りでブース展示を予定。 R元年度も前年度と同じく設計90件、工事90件を目標とする。
		実績値	109件	・設計 75件 ・工事 70件	・設計 92件 ・工事 89件	・設計 79件 ・工事 68件				
		達成(評価) (C)	-	B B	A B	B B				
		事業内容 (D)	【H30年度の取組】 H30年度から診断未実施者への戸別訪問、ふれあい祭りでブース展示を行い、前年度よりも広く周知を実施。診断同様、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。							

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値								
	○具体的な取組 (P)	実績値								
住宅の耐震化	3. コンクリートブロック塀耐震対策事業 【利用件数】 ・香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 ※避難路等に面している危険性の高いコン クリートブロック塀等を撤去したり、安全な フェンスなどに造り替える経費に対して補 助。 (上限205千円)  (H27) 利用件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	目標値	-	15件	15件	18件	30件			市広報・HPへの掲載、自主防 連絡会で周知、チラシ配布を予 定。 R元年度は大阪府北部地震の 影響により今後も増加が見込 まれ、30件を目標とする。	
	実績値	-	12件	14件	27件					
	達成(評価) (C)	-	B	B	A					
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 平成30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、広報やHPでブロック塀等の 安全対策の啓発や制度の周知を実施。								
◆空き家対策										
空き家対策	1. 老朽住宅等除却事業 【利用件数】 ・香南市老朽住宅等除却事業費補助金 ※避難路等に面している又は延焼等により 近隣住宅に影響する場所に存在する著しく 老朽化した住宅等の除却に要する経費に対 して補助。(補助率80%、上限1,645千円)  (H27) 事業開始・補助金利用件数 (H28) 同上(延べ) (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	目標値	-	20件	20件	20件	40件			市広報・HPへの掲載、自主防 連絡会で周知、チラシ配布を予 定。 老朽化した空家の増加・制度の 認知度の高まりにより増加が見 込まれ、R元年度は40件を目標 とする。	
	実績値	23件	20件	20件	28件					
	達成(評価) (C)	-	A	A	A					
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 広報誌・HPへの掲載、チラシ配布を実施。								
	2. 移住定住促進空き家活用住宅事業 (国県財源措置あり) 【お試し住宅の整備件数】  (H27) - (H28) 整備開始 (H29) 同上 (H30) 整備済みのため事業としては廃止 ただし、拠点の運用を継続。		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	目標値	-	1棟	1棟	-	-			-	
	実績値	-	0棟	1棟	-	-				
	達成(評価) (C)	-	C	A	-	-				
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 H29年度に香我美町口西川地区にお試し住宅1棟を構え、移住を検討している方の拠点と して利用している。								
	3. ウェルカム移住・定住促進事業費補助金 【交付件数】 ・香南市ウェルカム移住・定住促進事業費補助金  (H27) - (H28) 住宅取得支援補助 (H29) 住宅取得支援補助及び 引越支援補助件数 (H30) 活用事例がないため要綱等を 変更し廃止 →5-1 空き家改修事業費等補助金へ		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	目標値	-	・取得 2件	・取得 2件 ・引越 3件	-	-			-	
	実績値	-	・取得 0件	・取得 0件 ・引越 0件	-	-				
	達成(評価) (C)	-	C	C	-	-				
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 地区の縛りにより、使い勝手が悪かったことから、利用はなかった。 内容を見直し、本事業はH29年度で廃止。								
	4. 空き家バンク事業 【登録棟数(延べ)】  (H27) - (H28) 移住定住促進を目的とした空き家 の有効活用 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	目標値	-	3棟	5棟	20棟	40棟			まちづくり協議会や不動産業者 等、地域との連携による空き家 情報収集や移住相談員による 活用可能な空き家調査を継続 して行い、空き家の掘り起こし に取り組む。	
	実績値	-	3棟	18棟	32棟					
	達成(評価) (C)	-	A	A	A					
	事業内容 (D)	【H30年度の取組】 移住希望者にスムーズな住宅提供が出来るよう、空き家バンク登録物件に係る支援策「空 き家改修事業費等補助金」と合わせて、バンク登録の広報(市広報・チラシ)を実施。加え て、まちづくり協議会をはじめとした地域住民や不動産業者等、民間との協力・連携を強化 し、空き家情報の収集を行ったことで情報が得られた。 さらに、H30年度から活用できる「空き家調査」を開始し、外観評価の高い空き家の所有者 や管理者宛てに手紙を送付し登録へのアプローチをしたことで物件数の増となっている。 また、空き家所有者には登録時における事務手続きの支援を実施している。								



戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組 (A) 【R元年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
		実績値								
空き家対策	○具体的な取組 (P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
	5-1. 空き家改修事業費等補助金 (空き家改修事業:国県財源措置あり) 【空き家改修事業】 ※市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。  (H27)－ (H28)－ (H29) 空き家改修事業 (補助率10/10、上限1,824千円) (H30) 空き家改修事業 (R元)		目標値	－	－	3件	3件	3件		・移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の一部を見直し、要件によってはマッチング成立前に補助金の活用ができるよう拡充。  補助事業完了後は、空き家バンクに一定期間登録する等の条件を明確に付した空き家活用住宅としていく。
			実績値	－	－	1件	2件			
			達成(評価) (C)	－	－	C	B			
	事業内容 (D)		【H30年度の取組】 市外からの移住者と空き家バンク物件のマッチングが成立した場合に活用できる補助事業であり、古い空き家物件が多いためマッチング成立数が少ないことが原因の1つ。また、空き家所有者は売買を希望する人が多いが、移住者は始めは「賃貸」、気に入れば「購入」という段階を希望する人もあり、ミスマッチとなっている。特に、県外移住者は何度も現地確認をすることが困難なため、来訪したタイミングで希望物件が見つからず、マッチング成立までに時間を要している。市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。							
	5-2. 空き家改修事業費等補助金 (空き家修繕等支援事業:一部県財源措置あり) 【空き家修繕事業】 ※市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた量の交換、網戸の設置等)を補助する。  (H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 空き家修繕事業 (補助率10/10、県外移住者 上限200千円、 県内市外移住者 上限100千円) (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	－	－	－	2件	2件		5-1を参照。
			実績値	－	－	－	0件			
	事業内容 (D)		【H30年度の取組】 市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の修繕費を補助する。							
	5-3. 空き家改修事業費等補助金 (空き家修繕及び荷物処分等支援事業:一部県財源措置あり) 【荷物処分等支援事業】 ※既に耐震化の図られている登録物件の場合は、軽微な修繕費(200千円以下で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた量の交換、網戸の設置等)を補助する。  (H27)－ (H28)－ (H29)－ (H30) 荷物処分等支援事業 (補助率1/2、県外移住者 上限200千円、 県内市外移住者 上限100千円) (R元)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成	【今後の取組】
			目標値	－	－	－	2件	－		5-1を参照。  ※荷物処分支援事業は、住宅施策と関連性がないので、取組は空き家修繕事業に限定。 産振計画における取組としてはR元年より削除。 (事業廃止ではない)
			実績値	－	－	－	3件			
	事業内容 (D)		【H30年度の取組】 市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、空き家の荷物処分費を補助する。							